



VeriTrans4G 開発ガイド別冊

Amazon Pay ご利用ガイド

Ver. 1.1.11 版 (2025 年 08 月～)

目次

第 1 章	本ガイドの内容	3
1-1	本ガイドの内容	3
1-2	著作権、および問い合わせ先	3
1-3	改訂履歴	3
第 2 章	Amazon Pay サービス概要	6
2-1	Amazon Pay サービスの概要	6
2-2	都度決済と随時決済	7
2-3	配送先による金額の変更	8
第 3 章	MDK の処理概要	9
3-1	機能一覧(決済要求コマンド)	9
3-2	決済処理シーケンス	10
第 4 章	結果通知受信処理	19
4-1	結果通知受信処理の対象	19
第 5 章	インターフェイス詳細	20
5-1	Amazon Pay	20
5.1.1	申込	20
5.1.2	消費者ブラウザから店舗側の決済完了画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータ	24
5.1.3	売上	26
5.1.4	キャンセル	27
5.1.5	返金	28
5.1.6	住所情報取得	29
5.1.7	再与信	31
5.1.8	解約	33
5.1.9	承諾情報更新	34
5.1.10	与信変更	36
5-2	共通	37
5.2.1	検索	37
5-3	結果通知電文	41
5.3.1	結果通知電文の概要	41
5.3.2	Amazon Pay の結果通知電文	41
第 6 章	ご利用上の注意事項	44
6-1	ご利用前の設定	44
6.1.1	証明書の設定	44
6.1.2	インスタント支払通知の設定	44
6-2	売上要求、返金要求、中断について	44
6-3	要求可能期間	45
6-4	随時決済の頻度について	45
6-5	Amazon Pay 管理画面(セラーセントラル)について	46
6-6	Amazon マーケットプレイス保証について	46
6-7	決済申込での加盟店の決済確認画面の利用について	46

6-8 返金要求の失敗について	47
6-9 決済要求から 24 時間経過しても処理が確定しない場合について	47
6-10 通信プロトコルについて	47
第 7 章 その他 補足事項	48
7-1 Amazon Pay サービスの参考情報	48
7-2 検索 (Search) に関する補足 (詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態)	48
7-3 決済サーバーの決済確認画面イメージ	49
第 8 章 導入・テストに関する補足	50
8-1 決済申込時の画面遷移をシミュレートする	50
8-2 コマンドのエラーをシミュレートする	52

第1章 本ガイドの内容

1-1 本ガイドの内容

本ガイドは、株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが提供する VeriTrans4G の Amazon Pay サービスをインターネット店舗等に導入するための、Web アプリケーション開発者向けのガイドです。

VeriTrans4G の開発ガイドとの統合を行うまでの間、別冊でのご提供となります。

1-2 著作権、および問い合わせ先

[著作権]

本ドキュメントの著作権は株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが保有しています。

Copyright © 2025 DG Financial Technology, Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先]

株式会社 DG フィナンシャルテクノロジー ペリトランス テクニカルサポート

電子メール: tech-support@veritrans.jp

1-3 改訂履歴

2020/07 : Ver. 1.0.0 リリース

2020/11 : Ver. 1.1.0 リリース

「2-1 Amazon Pay サービスの概要」の支払い方法、画面遷移のイメージについての説明、図 2.1 画面遷移のイメージを更新

「2-2 都度決済と随時決済」を追加

「3-1 機能一覧(決済要求コマンド)」に「再与信/ReAuthorize」、「解約/Terminate」を追加

「3-1 機能一覧(決済要求コマンド)」の「申込(与信または与信+売上)/Authorize」の説明を更新

「3-2 決済処理シーケンス」に「再与信処理」、「解約処理」を追加

「4.1.1 申込 要求電文 : AmazonpayAuthorizeRequestDto」の「amount」の説明を更新

「4.1.1 申込 要求電文 : AmazonpayAuthorizeRequestDto」に「accountingType」、「frequencyUnit」、「frequencyValue」を追加

「4.1.2 消費者ブラウザから店舗側の確認画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ」に「buyerId」、「buyerEmail」を追加

「4.1.2 消費者ブラウザから店舗側の確認画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ」、「4.1.3 売上 応答電文 : AmazonpayCaptureResponseDto」、「4.1.4 キャンセル 応答電文 : AmazonpayCancelResponseDto」の「centerTransactionId」の説明を更新

「4.1.2 消費者ブラウザから店舗側の確認画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ」の「vAuthInfo および authParams を利用した改ざんチェックについて」の説明を更新

「4.1.3 売上 要求電文 : AmazonpayCaptureRequestDto」、「4.1.4 キャンセル 要求電文 : AmazonpayCancelRequestDto」、「4.1.5 返金 要求電文 : AmazonpayRefundRequestDto」、「4.1.6 住所情報取得 要求電文 : AmazonpayGetAddressRequestDto」の「orderId」の説明を更新

「4.1.6 住所情報取得応答電文 : AmazonpayGetAddressResponseDto」に「buyerId」、「buyerEmail」を追加

「4.1.7 再与信」、「4.1.8 解約」を追加

「4.2.1 検索 要求電文 : SearchRequestDto」に「accountingType」、「ondemandOrderType」、「originalOrderId」を追加

「4.2.1 検索 要求電文 : SearchRequestDto」の「command」の説明を更新

「4.2.1 検索 応答電文 : SearchResponseDto」に「properOrderInfo.accountingType」、「properOrderInfo.ondemandOrderType」、「properOrderInfo.frequencyUnit」、「properOrderInfo.frequencyValue」、「properOrderInfo.originalOrderId」を追加

「4.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」の「決済申込結果通知」に「ReAuthorize」を追記

「4.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」に「再与信結果通知(ReAuthorize)」、「解約結果通知(Terminate)」、「抹消通知(Deregistration)」を追加

「4.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」の「結果通知項目」の「txnType」に「再与信結果通知(ReAuthorize)」、「解約結果通知(Terminate)」、「抹消通知(Deregistration)」を追加

VeriTrans4G Amazon Pay ご利用ガイド

- 「4.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」の「結果通知項目」に「accountingType」、「originalOrderId」を追加
- 「4.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」の「結果通知項目」の注意事項を更新
- 「5.1.2 要求可能期間」の「返金」、「住所取得」の説明を更新
- 「5.1.2 要求可能期間」に「再与信」、「解約」を追加
- 「5.1.3 随時決済の頻度に関する注意事項」、「6-1 決済申込時の画面遷移をシミュレートする」を追加
- 「6-2 コマンドのエラーをシミュレートする」の対応表に「ReAuthorize」、「Terminate」、「Deregistration」を追加

2021/04 : Ver. 1.1.1 リリース

- 「1-1 Amazon Pay サービスの概要」の「画面遷移のイメージ更新」を更新
- 「2-2 都度決済と随時決済」の「随時決済機能」の説明を更新
- 「第3章 MDK の処理概要」の次の章として「第4章 結果通知受信処理」を追加
- 「第5章 その他 補足事項」を「第6章 ご利用上の注意事項」、「第7章 その他 補足事項」に章分け
- 「第6章 ご利用上の注意事項」に「6-1 ご利用前の設定」、「6-5 Amazon Pay 管理画面(セラーセントラル)」について」を追加

2021/07 : Ver. 1.1.2 リリース

- 「2-2 都度決済と随時決済」の「随時決済機能」の説明を更新
- 「3-1 機能一覧(決済要求コマンド)」に「承諾情報更新/UpdateConsent」、「与信変更/UpdateAuthorize」を追加
- 「3-2 決済処理シーケンス」に「承諾情報更新処理」、「与信変更処理」を追加
- 「4-1 結果通知受信処理の対象」に「承諾情報更新」、「与信変更」を追加
- 「5.1.1 申込」に「consentAuthType」、「authorizePushUrl」、「capturePushUrl」、「cancelPushUrl」、「addressRestrictions」を追加
- 「5.2.1 検索」に「consentAuthType」を追加
- 「5.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」に「与信変更結果通知」を追加
- 「5.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」の「結果通知項目」に「consentAuthType」を追加
- 「6.1.1 証明書の設定」の説明を更新
- 「6-3 要求可能期間」の「売上」、「キャンセル」、「住所情報取得」の説明を更新
- 「6-3 要求可能期間」に「承諾情報更新」、「与信変更」を追加
- 「6-4 随時決済の頻度について」に「承諾情報更新」についての説明を追加
- 「7-2 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態)」の「与信期限切れ」を削除
- 「7-2 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態)」に「承諾」を追加
- 「8-2 コマンドのエラーをシミュレートする」の対応表に「UpdateConsent」、「UpdateAuthorize」を追加

2021/11 : Ver. 1.1.3 リリース

- 「2-1 AmazonPay サービスの概要」の説明を一部削除
- 「2-3 配送先による金額の変更」の説明を追加
- 「3-1 機能一覧(決済要求コマンド)」の「与信変更/UpdateAuthorize」と「住所情報取得/GetAddress」の説明を更新
- 「3-2 決済処理シーケンス」に「決済申込時の処理(加盟店の決済確認画面利用)」を追加
- 「4-1 結果通知受信処理の対象」の「与信変更」に注釈を追加
- 「5.1.1 申込」の要求電文「cancelUrl」に注釈を追加
- 「5.1.1 申込」の要求電文に「payConfirmScreenType」、「payConfirmScreenUrl」、「extendExpiration」を追加
- 「5.1.6 住所情報取得」の要求電文に「addInfoRespFlag」を追加
- 「5.1.6 住所情報取得」の応答電文に「buyerName」、「buyerPhoneNumber」、「paymentPreferences」、「billingAddress1」、「billingAddress2」、「billingAddress3」、「billingPrefecture」、「billingPostalCode」、「payRedirectUrl」、「checkoutSessionId」を追加
- 「5.1.10 与信変更」の応答電文に「payRedirectUrl」を追加
- 「5.2.1 検索」の要求電文・応答電文に「payConfirmScreenType」を追加
- 「6-7 決済申込での加盟店の決済確認画面の利用について」を追加
- 「8-2 コマンドのエラーをシミュレートする」の対応表に与信処理の途中で実施するコマンド「GetAddress」、「UpdateAuthorize」の注釈を追加

2022/05 : Ver. 1.1.4 リリース

- 「8-2 コマンドのエラーをシミュレートする」の対応表の「UpdateConsent」の「要求金額の一の位」が「3」の結果コードを「6GD1」から「6ED3」に修正

2022/12 : Ver. 1.1.5 リリース

- 「5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の確認画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータ」の見出し等の文言修正
確認画面→決済完了画面、結果画面→決済完了画面
- 「3-2 決済処理シーケンス」完了画面要求の項目は「5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の決済完了画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータ」を参照するように説明を追加
- 「5.1.1. 申込」の extendExpiration の説明を更新
- 「5.1.1 申込」「5.1.7 再与信」「5.1.9 承諾情報更新」の noteToBuyer の書式・制限の更新 文字→byte
- 「5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の決済完了画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータ」「5.1.6 住所情報取得」の Amazon に登録している情報を返戻する項目の書式・制限の更新 文字→byte

VeriTrans4G Amazon Pay ご利用ガイド

- 「5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の決済完了画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータ」 「5.1.6 住所情報取得」の buyerId の書式を修正 半角英数字→半角英数記号
- 「5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の決済完了画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータ」 「6-7 決済申込での加盟店の決済確認画面の利用について」の文言修正 クエリパラメータ→リクエストパラメータ
- 「6-3 要求可能期間」の「売上」「与信変更」の説明に extendExpiration により異なる点の説明を追加
- 「6-3 要求可能期間」の「住所情報取得」の都度決済の期間を修正 30 日→180 日
- 「6-3 要求可能期間」の与信変更に関する記述を一部削除 「※2021 年 5 月 25 日以前に与信取得した取引には要求できませんのでご注意ください。」
- 「6-7 決済申込での加盟店の決済確認画面の利用について」に配送先・支払い方法の変更に関する説明を追加
- 「7-3 決済サーバーの決済確認画面イメージ」を追加
- 2023/05 : Ver. 1.1.6 リリース
 - 「5.1.1 申込」の cancelPushUrl の説明に抹消の説明を追加
 - 「5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の確認画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータ」に処理途中でキャンセルした場合の説明を追加
- 2023/06 : Ver. 1.1.7 リリース
 - 「5.2.1 応答電文」に merrMsg を追加
- 2023/09 : Ver. 1.1.8 リリース
 - 「3-2 決済処理シーケンス」
 - 【決済申込時の処理(決済サーバーの決済確認画面利用)】結果通知受信の必要性を追記
 - 【決済申込時の処理(加盟店の決済確認画面利用)】結果通知受信の必要性を追記
 - 「5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の決済完了画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータ」
 - 結果通知を受信するように注意書きを追加
 - 「この改ざんチェックは必須ではありませんが」の「必須ではありませんが」を削除
- 2023/11 : Ver. 1.1.9 リリース
 - 「2-1 Amazon Pay サービスの概要」の決済導入ページのお支払いボタンの画像 URL を更新
 - 「5.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」結果通知項目に随時決済の場合項番 15、16 番が連携される説明を追加
 - 「6.1.1 証明書の設定」に同じ出品者 ID の証明書の説明を追加
 - 「6.8 返金要求の失敗について」を追加
 - 「6.9 決済要求から 24 時間経過しても処理が確定しない場合について」を追加
 - 「6.10 通知プロトコルについて」を追加
 - 「7-1 Amazon Pay サービスの参考情報」の開発者向けページの URL を更新
 - 「8-2 コマンドのエラーをシミュレートする」の対応表に「Authorize(決済申込)後、確認画面移行時点」の列を追加
 - 各応答電文の「vResultCode」の説明 VResultCodeList を参照を結果コード一覧参照に修正
- 2024/03 : Ver. 1.1.10 リリース
 - 「2-2 都度決済と随時決済」の【随時決済機能】の②に withCapture についての説明を追記
 - 「6.1.2 インスタント支払通知の設定」のエンドポイントの URL を api.veritrans.co.jp から api3.veritrans.co.jp に修正
 - 「8-1 決済申込時の画面遷移をシミュレートする」の URL を api.veritrans.co.jp から api3.veritrans.co.jp に修正
- 2025/08 : Ver. 1.1.11 リリース
 - 「5.2.1 検索」指定可能な検索パラメータを取引 ID のみに変更
 - 「5.3.1 結果通知電文の概要」の「結果通知受信処理結果について」の説明を修正。
 - 「5.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」フィールド名の後ろにつく 4 ケタの連番を 0000～0999→0000～0099 に修正。
 - Amazon Pay の FAQ の URL を変更。
 - 「2-1 Amazon Pay サービスの概要」
 - 「6.1.1 証明書の設定」
 - 「6.1.2 インスタント支払通知の設定」

第2章 Amazon Pay サービス概要

2-1 Amazon Pay サービスの概要

Amazon Pay サービスは、加盟店のサイトで購入された商品の代金を、Amazon 社が提供する Amazon Pay サービス上で選択した支払い方法で決済できるサービスです。

- Amazon Pay サービスでは、ユーザが Amazon に登録した支払い方法と配送先情報を選択することができます。(購入のたびにユーザがこれらの情報を入力する必要はありません。)

また、決済申込の際に新規の支払い方法や配送先情報を登録することも可能です。

- 支払い方法について、2021 年 3 月時点では、都度決済では Amazon ギフト券とクレジットカード、随時決済ではクレジットカードのみ利用可能です。その他の方法で支払いを行うことはできません。

※支払い方法については追加される可能性があります。

支払い方法については Amazon Pay の FAQなどを参照してください。

- Amazon Pay サービスは PC・スマートフォンのどちらにも対応しています。

Amazon Pay 決済の画面遷移のイメージを以下に示します。

※決済導入ページのお支払いボタンには以下の URL の画像のうち Sandbox 以外の画像を必ずお使いください。

https://www.amazonpay-integration.com/v2/button_images/amazonpay_button_images.zip

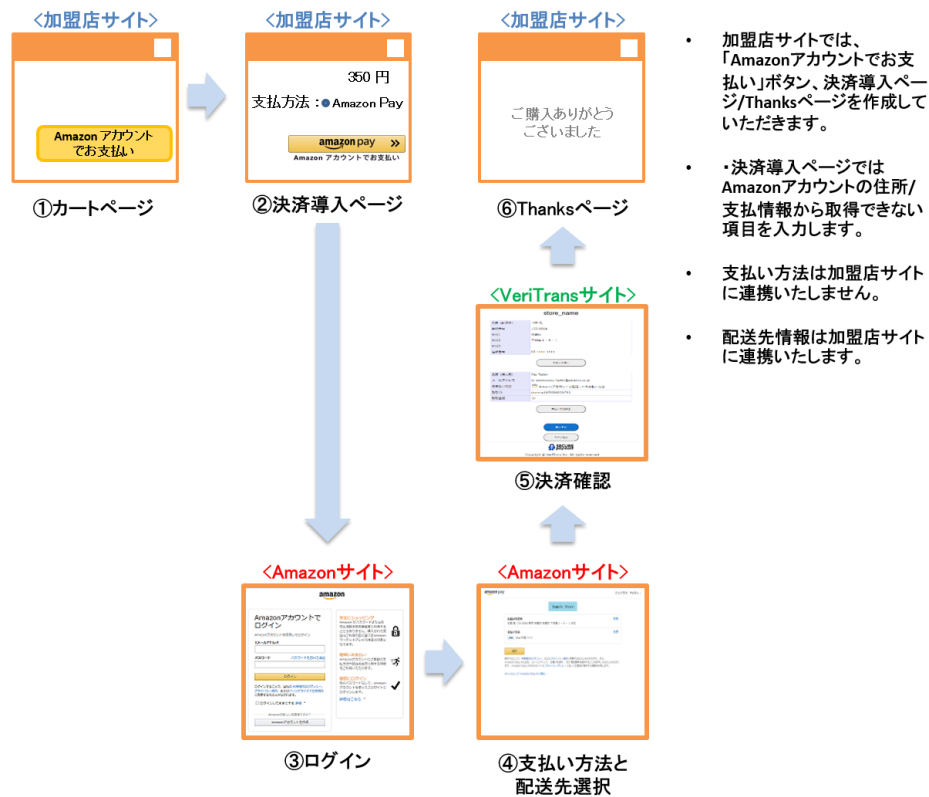


図 2.1 画面遷移のイメージ

2-2 都度決済と随時決済

Amazon Pay サービスでは、「都度決済」と「随時決済」の2種類の決済を行うことができます。

【都度決済機能】

消費者の購入した商品などについて、1回だけ決済を行います。

都度決済機能には以下の特徴があります。

- ① 都度決済の申込は、「課金種別」を未指定、あるいは都度決済を指定して行います。
- ② 都度決済の申込は、消費者の端末から行います。
- ③ 与信のキャンセル、売上、売上後の返金、与信変更はMDKまたは管理画面(MAP)から可能です。

【随時決済機能】

店舗様と利用者の決済頻度についての承諾に基づき、その決済頻度にあわせて課金することができます。解約手続き(利用承諾の終了)が行われるまで、店舗様からの要求の都度、課金が発生します。

- ① 随時決済の申込(利用承諾)は、「課金種別」に随時決済を指定し、「頻度(単位)」と「頻度(値)」を設定して、都度決済と同様のフローで行います。
- ② 随時決済の申込時に「承諾時決済タイプ」を指定することで、「承諾のみ」か「与信+承諾」のいずれかを行うことができます。※withCaptureを指定することで申込と同時に売上処理も可能です。
- ③ 随時決済の申込は、消費者の端末から行います。
- ④ 課金する場合には、①の取引IDを元取引IDに指定し、新しい取引IDで再与信することにより金額を確保します。

※withCaptureを指定することで同時に売上処理も可能です。

- ⑤ ④の取引IDに対して、キャンセル、売上、返金を実施します。

再与信した取引のキャンセル、売上、売上後の返金はMDKまたは管理画面(MAP)から可能です。

- ⑥ 随時決済の解約が行われるまで、④と⑤を何度でも実施できます。

ただし、13か月以上再与信を行わなかった場合は、Amazon Pay側で利用承諾終了となり、抹消通知が店舗様に通知されます。消費者側で解約が行われた場合にも抹消通知が店舗様に通知されます。

また、金額、頻度を変えて再与信を行う場合は、承諾情報更新を実施する必要があります。

- ⑦ 随時決済の解約はMDKまたは管理画面(MAP)から可能です。

2-3 配送先による金額の変更

Amazon Pay サービスでは、決済申込フローの中で配送先の住所を選択することができます。選択された住所により配送料が異なる場合は、以下の方法で決済金額の変更を行います。

※決済申込時の決済確認画面に「決済サーバー画面」と「加盟店画面」を利用した2つのパターンがあり、それぞれで決済金額の変更方法が異なります。

【決済サーバー画面】を利用する場合

決済申込処理の完了後に「与信変更」コマンド(都度決済)、または「承諾変更」コマンド(随時決済)を実施します。

決済処理シーケンスは「決済申込時の処理(決済サーバーの決済確認画面利用)」を参照してください。

【加盟店画面】を利用する場合

決済申込フローの途中で「与信変更」コマンド(都度決済および随時決済)を実施します。

決済確認画面では消費者が配送先や支払い方法を変えるための処理を実装する必要があります。詳細については、「6-7 決済申込での加盟店の決済確認画面の利用について」を参照してください。

決済処理シーケンスは「決済申込時の処理(加盟店の決済確認画面利用)」を参照してください。

第3章 MDK の処理概要

3-1 機能一覧(決済要求コマンド)

使用可能な決済要求コマンドを下記表に示します。

決済要求種類 /コマンド	概要
申込 (与信) /Authorize	決済の申込のため、Amazon Pay へのログインを要求します。 消費者の操作完了後に、与信(オーソリ)を要求します。 要求パラメータの accountingType を 1 に設定した場合は、随時決済の申込を行います。
申込 (与信+売上) /Authorize	決済の申込のため、Amazon Pay へのログインを要求します。 消費者の操作完了後に、与信(オーソリ)と売上を同時に要求します。 要求パラメータの accountingType を 1 に設定した場合は、随時決済の申込を行います。
申込 (承諾) /Authorize	随時決済の利用承諾のみを申込むための、Amazon Pay へのログインを要求します。 消費者の操作完了後に、利用承諾を要求します。 要求パラメータの accountingType を 1 に設定し、consentAuthType を 0 に設定することでこの決済要求が行えます。
売上 /Capture	申込済み取引の売上確定を要求します。 オーソリ金額を超えない範囲で売上金額を指定できます(部分売上) ^{※1} 。
申込キャンセル /Cancel	売上前の取引に対して、与信(オーソリ)の取消を要求します。 オーソリ全額のキャンセルとなります。(オーソリの一部金額の取消は行えません。)
返金 /Refund	売上済の取引に対し、返金を要求します。 売上金額を超えない範囲で返金金額を指定できます(部分返金) ^{※2} 。
住所情報取得 /GetAddress	申込済みの取引に対して、消費者が選択した配送先情報を要求します。 購入者が処理途中でブラウザを閉じた場合など、申込結果の配送先情報を得られなかった場合には、当コマンドの結果により配送先情報を取得することができます。 ※決済申込時に、加盟店の決済確認画面を利用するパターンでは、与信前に実行可能です。コマンドの結果により配送先情報を取得し、決済確認画面上に表示することや送料計算に利用することができます。
再与信 /ReAuthorize	随時決済の利用承諾を取得した取引を元取引として再度与信(オーソリ)を要求します。
解約 /Terminate	随時決済の利用承諾の終了を要求します。
承諾情報更新 /UpdateConsent	随時決済の承諾情報の更新を要求します ^{※3} 。
与信変更 /UpdateAuthorize	都度決済の、売上前または与信(オーソリ)取消前の取引に対してオーソリの変更を要求します ^{※4} 。 オーソリを取り直すため、売上の要求期限が与信変更を要求してから 30 日間に延長されます。 ※決済申込時に加盟店の決済確認画面を利用するパターンでは、都度および随時決済両方で与信前でも実施可能です。

表 3.1 使用可能なコマンド一覧

※1 部分売上を複数回行うことはできません。部分売上を行った場合の残りのオーソリ枠は解放されます

※2 部分返金は、決済金額の残り(残高)が 0 円になるまで繰り返し実行できます。

※3 承諾情報更新は解約を行うまで繰り返し実行できます。

※4 与信変更は売上、与信(オーソリ)の取消を行うまで繰り返し実行できます。

3-2 決済処理シーケンス

【決済申込時の処理(決済サーバーの決済確認画面利用)】

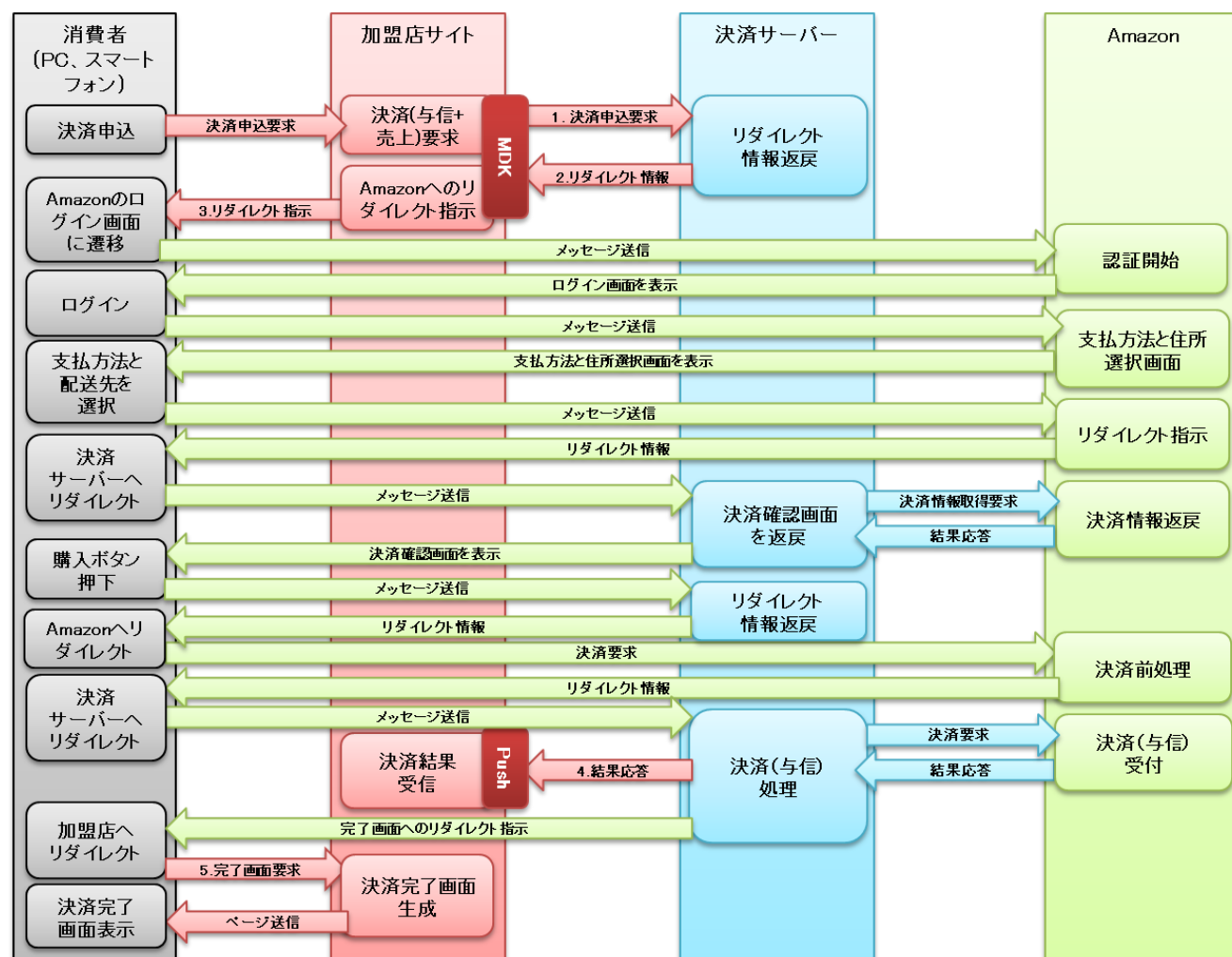


図 3.1 MDK 利用時システム処理概要図 (AmazonPay 申込、決済サーバーの決済確認画面利用)

No.	基本機能	処理説明
1	決済申込要求	EC サイトに渡された決済申込情報を電文化し、決済サーバーに要求を送信します。
2	リダイレクト情報の受信	決済サーバーから返信された結果を受信します。結果が成功(決済可能)の場合、「3.リダイレクト指示」を実施します。消費者ブラウザに返す HTML コンテンツが決済サーバーより返信された結果に含まれます。
3	Amazon Pay 認証画面へのリダイレクト指示	決済サーバーにより返信された HTML コンテンツを用いて、消費者ブラウザに Amazon Pay の認証画面へのリダイレクト指示を送信します。
4	結果応答	決済結果を受け取り、注文データ等に反映します。 完了画面要求は、消費者の端末(PC やスマートフォン)のネットワーク環境の問題や、誤操作(ブラウザやタブを閉じてしまう等)により、正しく行われない可能性がありますので、必ずこの通知を受信してください。 なお、結果応答と完了画面要求のリダイレクト結果が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください。

5	完了画面要求	決済サーバーから応答された Amazon Pay の決済結果を加盟店の画面などに表示し、消費者に決済結果をお伝えください。 決済サーバーからの返戻項目の詳細は、5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の決済完了画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータを参照してください。
---	--------	--

12

7	決済確認画面表示	消費者に、支払い方法や配送先情報を表示するページを返します。 配送先の住所により金額変更がある場合は、新しい算出した金額を返すページに反映します。
8	与信変更要求	配送先の住所によって金額変更がある場合は、対象の取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
9	与信変更応答	決済サーバーより与信変更の結果応答を受信し、結果情報を取得します。 ※結果通知は送信しません。
10	リダイレクト指示	Amazon Pay のサーバーへのリダイレクト指示を実施し、与信処理を進めます。
11	結果応答	決済結果を受け取り、注文データ等に反映します。 完了画面要求は、消費者の端末(PC やスマートフォン)のネットワーク環境の問題や、誤操作(ブラウザやタブを閉じてしまう等)により、正しく行われな可能性があるので、必ずこの通知を受信してください。 なお、結果応答と完了画面要求のリダイレクト結果が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください。
12	完了画面要求	決済サーバーから応答された Amazon Pay の決済結果を加盟店の画面などに表示し、消費者に決済結果をお伝えください。 決済サーバーからの返戻項目の詳細は、5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の決済完了画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータを参照してください。

【売上処理】

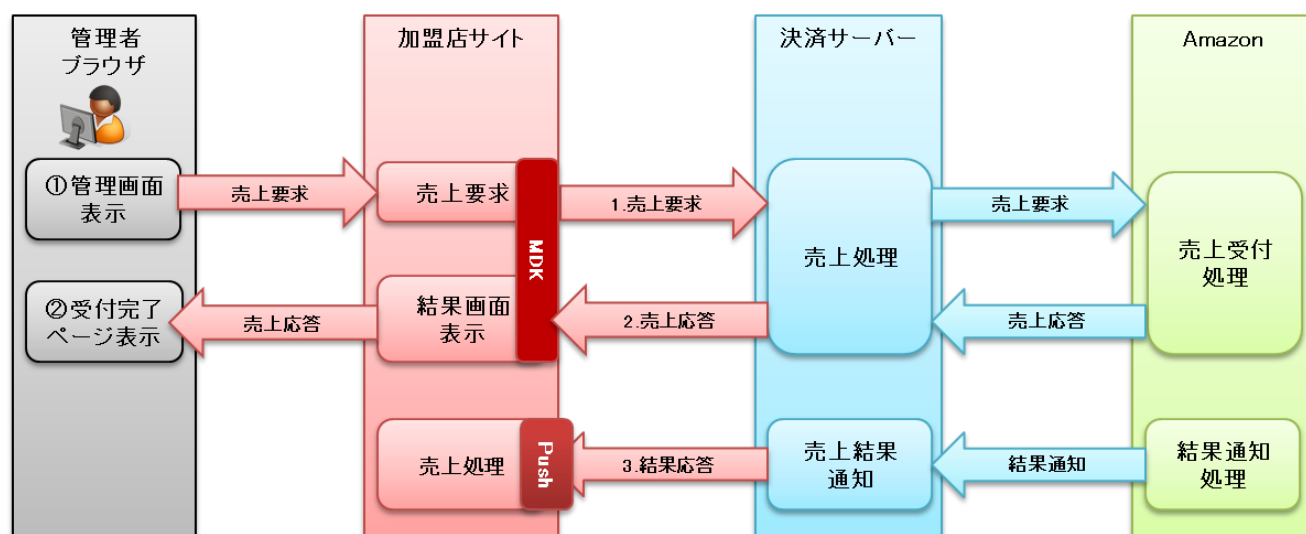


図 3.3 MDK 利用時システム処理概要図 (AmazonPay 売上要求)

No.	基本機能	処理説明
1	売上要求	売上の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	売上応答	決済サーバーより売上応答を受信し、結果を加盟店サイトに返戻します。 ※Amazon Pay の売上では、売上要求の受付応答時点で売上が成立しないことがあり、この場合は売上要求が Amazon 側で受け付けられたかどうか、という結果を返戻します。ただし、直ちに Amazon 側で処理完了の応答を行った場合は、売上応答として、処理が成功した旨の応答を行います。 ※売上応答と結果応答が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください。また、売上応答で処理結果を返した場合でも、結果応答を行います。
3	結果応答	決済サーバーより売上の結果応答を受信し、結果応答を行います。

【キャンセル処理】

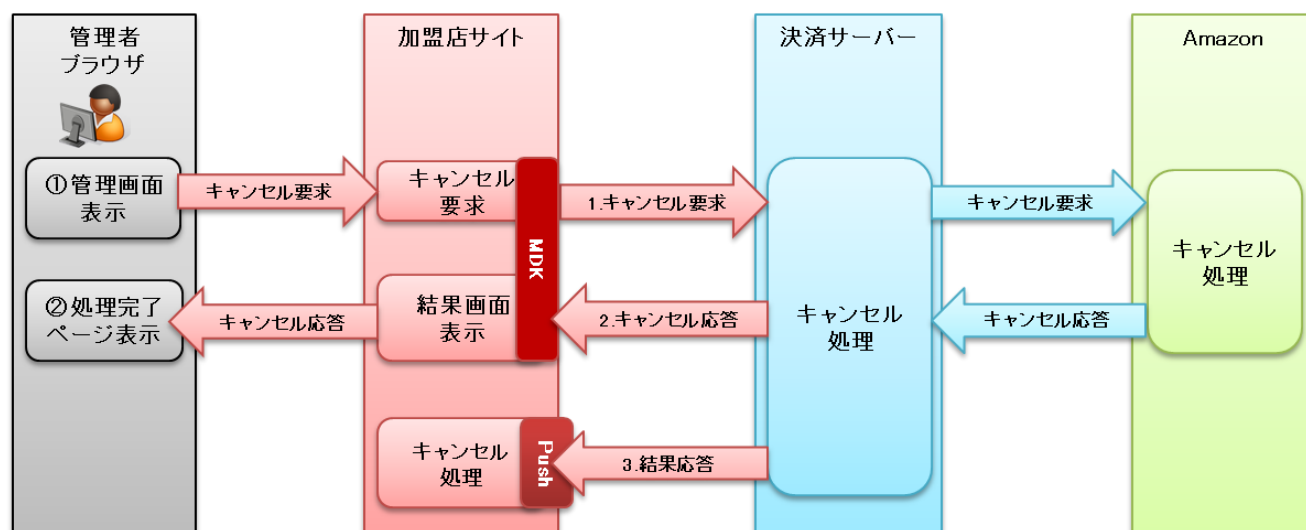


図 3.4 MDK 利用時システム処理概要図 (AmazonPay キャンセル要求)

No.	基本機能	処理説明
1	キャンセル要求	キャンセルの対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	キャンセル応答	決済サーバーよりキャンセルの結果応答を受信し、結果を加盟店サイトに返戻します。 ※キャンセル応答と結果応答が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください。
3	結果応答	決済サーバーよりキャンセルの結果応答を受信し、結果応答を行います。 決済サーバーが Amazon からの応答を即時に得られなかった場合、決済サーバーからの問い合わせによりキャンセルの成立・不成立が明らかとなった場合に結果応答を行います。

【返金処理】

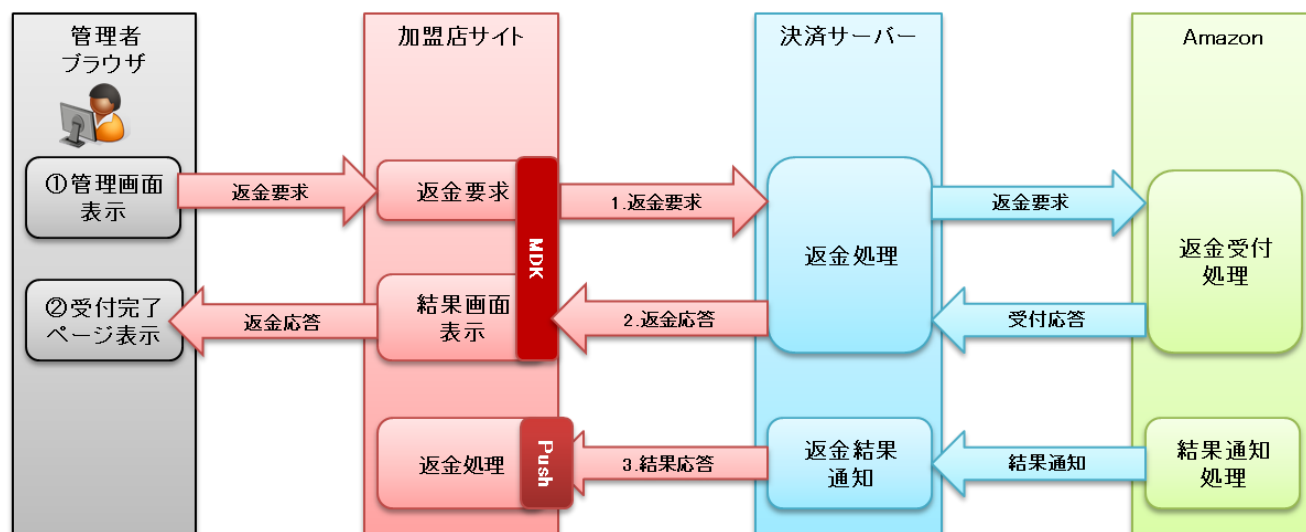
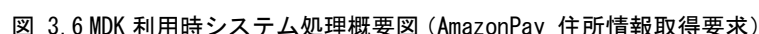
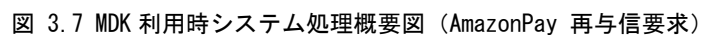


図 3.5 MDK 利用時システム処理概要図 (AmazonPay 返金要求)

No.	基本機能	処理説明
1	返金要求	返金の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	返金応答	決済サーバーより返金の受付応答を受信し、結果を加盟店サイトに返戻します。 ※Amazon Pay の返金では、返金要求の受付応答時点で返金が成立することは稀であり、この時点では返金要求が Amazon 側で受け付けられたかどうか、という結果を返戻します。ただし、直ちに Amazon 側で処理完了の応答を行った場合は、返金応答として、処理が成功した旨の応答を行います。 ※返金応答と結果応答が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください。また、返金応答で処理結果を返した場合でも、結果応答を行います。
3	結果応答	決済サーバーより返金の結果応答を受信し、結果応答を行います。



【再与信处理】

16

【解約処理】

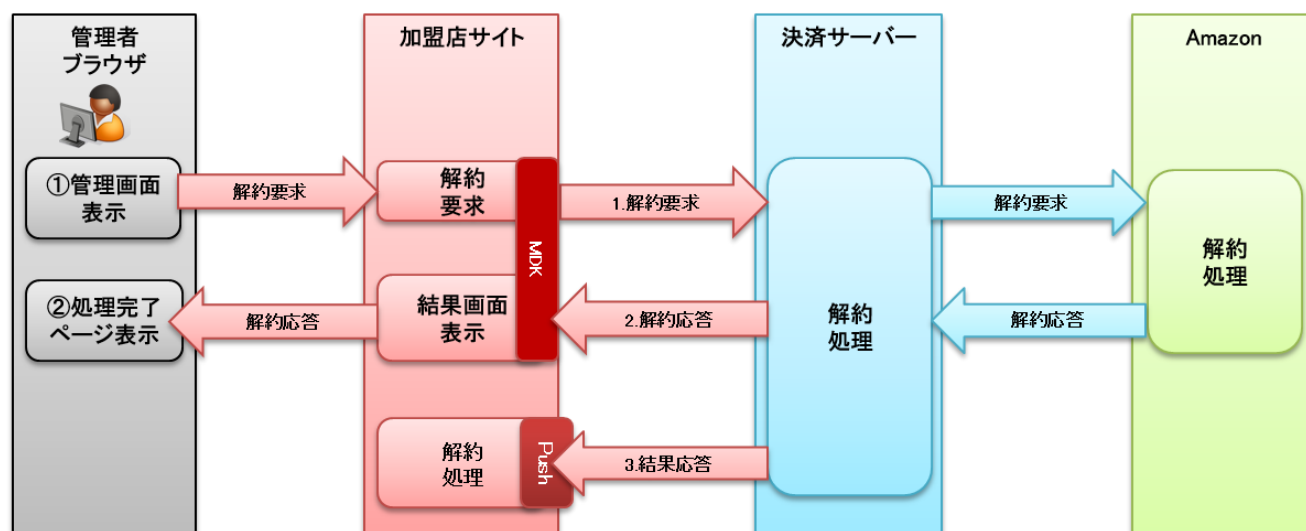


図 3.8 MDK 利用時システム処理概要図 (AmazonPay 解約要求)

No.	基本機能	処理説明
1	解約要求	解約の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	解約応答	決済サーバーより解約の結果応答を受信し、結果を加盟店サイトに返戻します。 ※解約応答と結果応答が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題としないようにご対応ください。
3	結果応答	決済サーバーより解約の結果応答を受信し、結果応答を行います。 決済サーバーが Amazon からの応答を即時に得られなかった場合、決済サーバーからの問い合わせにより解約の成立・不成立が明らかとなった場合に結果応答を行います。

【承諾情報更新処理】

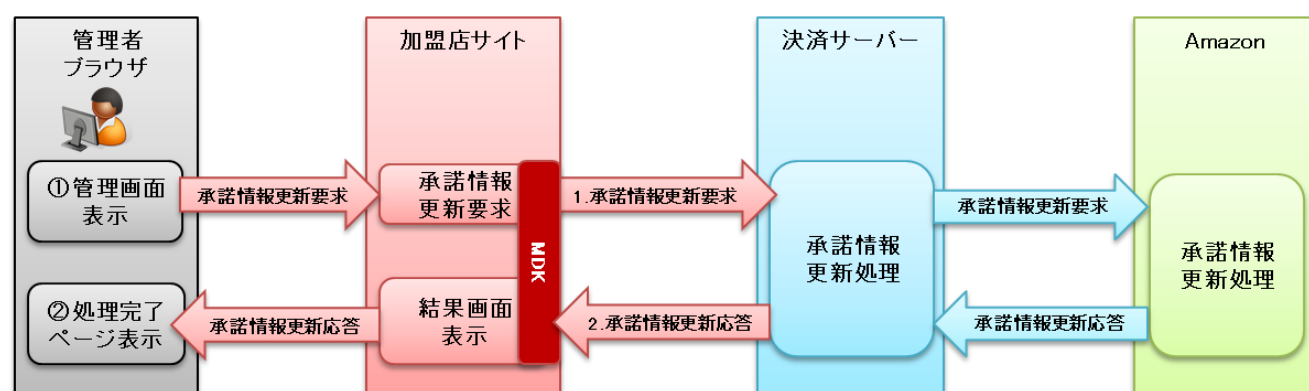


図 3.9 MDK 利用時システム処理概要図 (AmazonPay 承諾情報更新要求)

No.	基本機能	処理説明
1	承諾情報更新要求	承諾情報更新の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	承諾情報更新応答	決済サーバーより承諾情報更新の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

【与信変更処理】

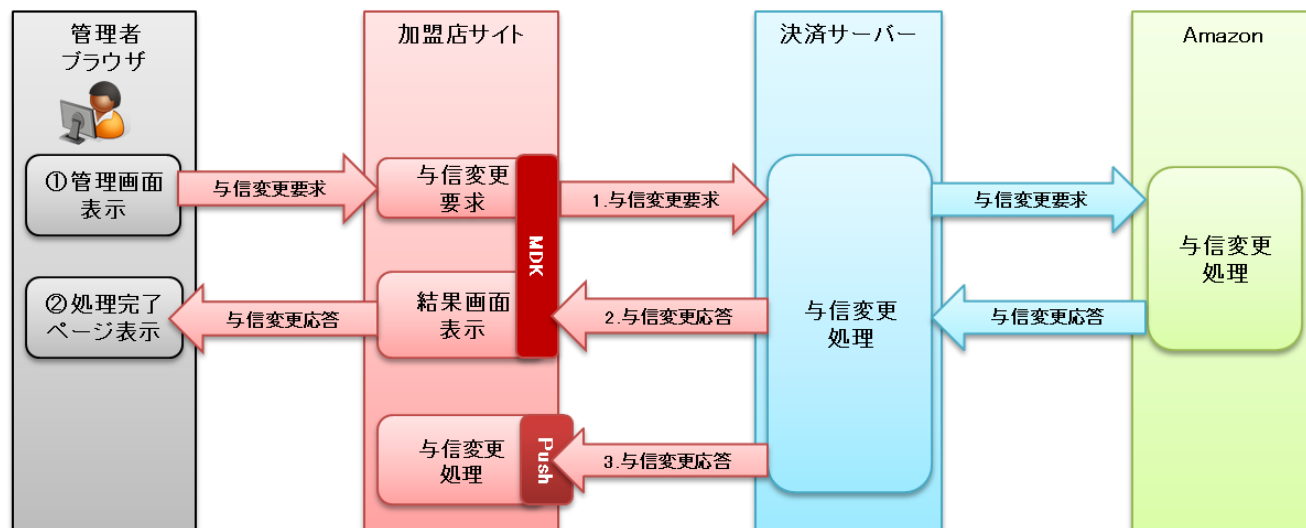


図 3.10 MDK 利用時システム処理概要図 (AmazonPay 与信変更要求)

No.	基本機能	処理説明
1	与信変更要求	与信変更の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	与信変更応答	決済サーバーより与信変更の結果応答を受信し、結果を加盟店サイトに返します。 ※与信変更応答と結果応答が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください。
3	結果応答	決済サーバーより与信変更の結果応答を受信し、結果応答を行います。 決済サーバーが Amazon からの応答を即時に得られなかった場合、決済サーバーからの問い合わせにより与信変更の成立・不成立が明らかとなった場合に結果応答を行います。

第4章 結果通知受信処理

4-1 結果通知受信処理の対象

Amazon Pay の結果通知受信処理の対象は以下の機能です。

決済要求種類	都度決済	随時決済
決済申込	○	○
売上	○	○
キャンセル	○	○
返金	○	○
住所情報取得	—	—
再与信	—	○
解約	—	○
抹消	—	○
承諾情報更新	—	—
与信変更	○(※1)	—

表 4.1 通知対象一覧

通信電文仕様(共通部)および店舗様受信後応答仕様は、『開発ガイド』をご参照ください。

Amazon Pay 固有の通知電文インターフェイスにつきましては、「5-3 結果通知電文」の「5.3.2 Amazon Pay の結果通知電文」をご参照ください。

※1:決済申込で加盟店の決済確認画面を利用するパターンにおいて、決済申込処理の途中で与信変更を実施した場合は結果通知を送信しません。

第5章 インターフェイス詳細

ここでは Amazon Pay サービスで利用する MDK インターフェイス項目を説明します。

■「設定」欄の内容は以下の通りです。

要求電文 … 必須項目:○ 任意項目:△ 設定不可:× その他条件付:※、※n(条件は説明欄、または欄外に記入)

応答電文 … 必ず返戻:○ 処理成功時のみ返戻:△ 返戻なし:× その他条件付:※

■orderId(取引 ID)について

店舗様で任意に採番してください。申込、再与信処理毎に付ける必要があります。他の取引 ID と重複しないよう採番してください。他決済サービスとも重複できません。

また、テスト取引で使用した取引 ID を、本番取引で再度使用することはできません。

取引 ID には、半角英数字以外に“-”(ハイフン)、“_”(アンダースコア)も使用可能です。

■応答電文について

応答電文には、本書に記載されていないフィールド(パラメータ)も存在しますが、通常は、記載されているフィールド以外は加盟店の方で意識する必要はございません。

5-1 Amazon Pay

5.1.1 申込

要求電文 : AmazonpayAuthorizeRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	店舗側で採番した取引 ID を指定 上記「orderId(取引 ID)について」参照	○
accountingType	課金種別	右記参照	“0”:都度決済 “1”:随時決済 ※未指定の場合は、“0”:都度決済となります。	△
consentAuthType	承諾時決済タイプ	右記参照	“0”:承諾のみ “1”:与信+承諾 ※課金種別が都度決済の場合は 指定できません。 ※未指定の場合は、MAP(Merchant Administrator Portal)から登録申請した値を使用。	△
amount	決済金額	半角数字 8 桁以内	決済金額を指定 - 都度決済:1~10000000 の間 - 随時決済:1~100000 の間	○
withCapture	売上フラグ	右記参照	“true”: 与信同時売上 “false”: 与信のみ ※未指定の場合は、“false”: 与信のみとなります。	△
suppressShippingAddressView	配送先表示抑止フラグ	右記参照	消費者が Amazon Pay の提供する画面上で配送先を選択するかどうかを制御します。 “true”: 配送先非表示 “false”: 配送先表示 ※未指定の場合は、MAP(Merchant Administrator Portal)から登録申請した値を使用。	△
noteToBuyer	注文説明	文字列 255byte 以内	購入者のメールに表示される注文の説明	△

要求電文 : AmazonpayAuthorizeRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
successUrl	完了時 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内	決済申込成功時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。	△
cancelUrl	キャンセル時 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内	決済申込を消費者がキャンセルした時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。 ※本番取引の場合、HTTPS プロトコルを設定する必要があります。	△
errorUrl	エラー時 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内	決済申込エラー時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。	△
authorizePushUrl	与信時プッシュ先 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内 ※localhost を含む URL は指定不可	決済申込、再与信要求および与信変更要求が成立(成功または失敗)した時に、結果通知電文をプッシュする先の URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。	△
capturePushUrl	売上時プッシュ先 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内 ※localhost を含む URL は指定不可	売上要求の処理結果が確定(成功または失敗)した時に、結果通知電文をプッシュする先の URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。	△
cancelPushUrl	キャンセル時プッシュ先 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内 ※localhost を含む URL は指定不可	キャンセル要求、返金要求および解約要求の処理結果が確定(成功または失敗)した時と、Amazon Pay から抹消通知を受信した時に、結果通知電文をプッシュする先の URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。	△
frequencyUnit	頻度(単位)	右記参照	随時決済の頻度の単位(例: 2 週間毎であれば、単位は Week、値は 2) "Year": 年 "Month": 月 "Week": 週 "Day": 日 ※課金種別が都度決済の場合は指定できません。 ※課金種別が随時決済の場合は指定必須です。 ※6-4 随時決済の頻度についてをご参照の上ご利用ください。	※

要求電文 : AmazonpayAuthorizeRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
frequencyValue	頻度(値)	半角数字 3桁以内	随時決済の頻度の値(例:2週間毎であれば、単位は Week、値は 2) – 頻度(単位)毎に設定できる範囲が異なります。 “Year”: 1 のみ “Month”: 1～12 “Week”: 1～52 “Day”: 1～365 ※課金種別が都度決済の場合は指定できません。 ※課金種別が随時決済の場合は指定必須です。 ※6-4 随時決済の頻度についてをご参照の上ご利用ください。	※
addressRestrictions	配送先制限リスト	文字列 4,000 字以内	配送先を制限するための許可リストまたは禁止リスト。 – リストには下記内容を JSON 形式で指定する必要があります。 <pre>{ "type": "【Allowed】", "restrictions": { "countryCode": "【AA】", "statesOrRegions": "【AA】", "zipCodes": "【99999】", "countryCode": "【AA】", "statesOrRegions": "【AA】", "zipCodes": "【999-9999】", ... } }</pre> ※【】で括られた部分は下記に従い適切な値を設定 “type”: “Allowed”(許可) “NotAllowed”(禁止) “countryCode”: 国名コード(日本: JP, アメリカ: US 等の ISO3166 準拠コード) “statesOrRegions”: 都道府県等の地域名、アメリカは 2 桁の州略号(WA, CA, IL...) “zipCodes”: 郵便番号、日本の場合は【999-9999】 例: 東京都および東京以外の特定の郵便番号の地域のみ配送可能とする場合 <pre>{ "type": "Allowed", "restrictions": { "JP": { "statesOrRegions": "東京都", "zipCodes": "260-8667" } } }</pre> ※配送先の都道府県には通常“千葉県”, “東京都”といった値が設定されますが、消費者の入力次第で「東京」「Tokyo-to」などの文字が設定されることもあります。上記の例では「東京」「Tokyo-to」といった“東京都”以外の表記は許可されなくなりますのでご注意ください。	△
payConfirmScreenType	決済確認画面種別	右記参照	“0”: 決済サーバー決済確認画面利用 “1”: 加盟店決済確認画面利用 ※未指定の場合は、“0”: 決済サーバー決済確認画面利用となります。	△

要求電文 : AmazonpayAuthorizeRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
payConfirmScreenUrl	決済確認画面 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内	決済確認画面への遷移時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定 (クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。 ※未指定かつ MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値が存在しない場合はエラーとなります。 ※決済確認画面種別が "1": 加盟店決済確認画面利用の場合のみ、指定可能。※本番取引の場合、HTTPS プロトコルを設定する必要があります。	△
extendExpiration	与信期限延長フラグ	右記参照	課金種別が都度決済の場合に、ChargePermission の有効期限を 180 日から 13 ヶ月に延長するか指定 "true": 延長する "false": 延長しない ※未指定の場合は、"false": 延長しないとなります。 ※オーソリの有効期限 30 日を延長するわけではありません。「与信変更」コマンドを行える期間が 180 日から 13 ヶ月に延長されることとなります。	△

応答電文 : AmazonpayAuthorizeResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文 (内部処理も含む) 毎に付与する ID 1 つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー (取引 ID) と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
responseContents	レスポンスコンテンツ	文字列	加盟店側で消費者に対して応答する HTML コンテンツです。自動で Amazon Pay の画面に遷移するための JavaScript を含みます。	△

5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の決済完了画面へリダイレクトする時のリクエストパラメータ

リダイレクト受信内容: 決済サーバーから消費者ブラウザ経由で店舗側へリダイレクト(POST)される内容

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	“success” : 正常終了 “failure” : 異常終了 “pending” : 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数 4 桁	処理の結果を詳細に表すコード 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 文字以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターが注文毎に発番する ID。 Amazon から購入者へ送信するメールに、注文番号として表示されます。	△
centerTransactionId	決済センターのトランザクション管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターがトランザクション毎に発番する ID。 結果通知の内容とリダイレクト受信内容を紐づけるための情報として使用できます。 ※決済申込、売上、キャンセルの応答時は、決済センターが同じ値を返します。また、再与信、再与信取引の売上、再与信取引のキャンセルの応答時は、元取引とは別に、決済センターが同じ値を返します。	△
centerResponseDate time	センター応答日時	文字列 14 桁	決済センターが決済申込要求に応答した日時 正常終了時であれば、決済申込の成立日時となります。 要求時に withCapture に true を指定した場合の正常終了時は、売上の成立日時となります。 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△
shippingName	配送先: 氏名	文字列 50byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。	△
shippingPhone	配送先: 電話番号	文字列 20byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。 半角、全角、ハイフンありなど、購入者の入力次第です。	△
shippingAddress1	配送先: 住所1	文字列 180byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。 住所1～住所3でどのように住所が登録されているかは、購入者の入力次第です。	△
shippingAddress2	配送先: 住所2	文字列 60byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。	△
shippingAddress3	配送先: 住所3	文字列 60byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。 通常、会社名やマンション名用に利用されています。	△
shippingPrefecture	配送先: 都道府県	文字列 50byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。 住所1～住所3に都道府県を含めて登録されているかは、購入者の入力次第です。	△
shippingPostalCode	配送先: 郵便番号	文字列 20byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。 半角、全角、ハイフンありなど、購入者の入力次第です。	△
buyerId	購入者 ID	半角英数記号	決済センターが発番した購入者 Amazon アカウントのユニークIDを返します。文字数は可変となります。	△
buyerEmail	購入者メールアドレス	半角英数記号 64 byte 以内	購入者のメールアドレスを返します。	△

vAuthInfo	改ざんチェック用 ハッシュ値	文字列 右記参照	下記文字列を連結し、SHA-256 によって算出したハッシュ値 ・マーチャント CCID ・パラメータ値の連結文字列 (authParams が示す順序で連結) ・パスワード なお、パラメータ値を連結する際は、パラメータ名や区切り文字は含めず、パラメータ値のみを連結しています。連結した文字列をバイナリに変換する際の文字エンコーディングは、UTF-8 を使用しています。	○
authParams	ハッシュ値算出パラメータ順序	文字列 右記参照	vAuthInfo のハッシュ値を算出する元とした文字列の、パラメータの連結順序を示す値 パラメータ名のカンマ区切り文字列を Base64 エンコードしています。デコードを行うと文字列が復元されます。 例) <pre>"orderId,vResultCode,mstatus"</pre> <pre>"mstatus,orderId,vResultCode"</pre> (順序は固定ではないため、リクエスト受信のたびに動的に処理する必要があります。)	○

(重要)

- ◇ これらのパラメータはブラウザを経由して連携されるため、画面遷移が正常に行われないケースでは取得することができません。そのため、決済サーバーから直接送信される「5-3 結果通知電文」の受信と組み合わせて確実に結果を取得するようにしてください。

- ◇ vAuthInfo および authParams を利用した改ざんチェックについて

決済サーバーから消費者ブラウザを経由して店舗側の決済完了画面に遷移(リダイレクト)しますが、ここで店舗側システムが受け取ったリクエストパラメータが改ざんされていないことを検証するためのパラメータが、vAuthInfo と authParams です。

店舗側システムで算出したハッシュ値が、リクエストパラメータより取得した vAuthInfo と一致している場合は、パラメータは改ざんされていない、とみなすことができます。

この改ざんチェックは、悪意を持った第三者によって、不正なリダイレクト電文を受信する可能性がありますので、実装を強く推奨しています。

実装方法の詳細につきましては、弊社より提供しているサンプルプログラムをご参照ください。

リクエストパラメータは将来的に追加される可能性がございます。上記に定義されたフィールド名以外のフィールドが連携された場合でもエラーとならないようご注意ください。

※処理の途中でキャンセルを行った場合は、リダイレクトされることなく GET で cancelUrl に遷移するため、リクエストパラメータはありません。cancelUrl 設定時に直接クエリパラメータを設定していた場合は、その値のまま cancelUrl に遷移します。

5.1.3 売上

要求電文 : AmazonpayCaptureRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	都度決済: 決済申込時の取引 ID を指定 随時決済: 決済申込時、または再与信時の取引 ID を指定	○
amount	売上金額	半角数字 8 桁以内	与信時に設定した決済金額以下を指定 1～決済金額の間で指定できます。 ※未指定の場合は、与信時に設定した決済金額が売上金額となります。	△

応答電文 : AmazonpayCaptureResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留 ※Amazon 側で売上要求に対して処理を行うまで時間が掛かる場合があるため、売上の受付状況を処理結果として返戻します。"success"または"pending"の場合は、Amazon 側の処理後に結果通知を行うため、そちらで処理結果を判断してください。Amazon 側で即時に売上が成立した場合でも、結果通知は行います。	○
vresultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
centerResponseDatetime	決済センター応答日時	文字列 14 桁	決済センターが売上要求に応答した日時 Amazon 側で売上要求を受け付けた日時となります。 ※売上が成立した日時は、結果通知をご参照ください。 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△
centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターが注文毎に発番する ID。 Amazon から購入者へ送信するメールに、注文番号として表示されます。	△
centerTransactionId	決済センターのトランザクション管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターがトランザクション毎に発番する ID。 結果通知の内容とリダイレクト受信内容を紐づけるための情報として使用できます。 ※決済申込、売上、キャンセルの応答時は、決済センターが同じ値を返戻します。また、再与信、再与信取引の売上、再与信取引のキャンセルの応答時は、元取引とは別に、決済センターが同じ値を返戻します。	△

5.1.4 キャンセル

要求電文 : AmazonpayCancelRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	都度決済: 決済申込時の取引 ID を指定 随時決済: 決済申込時、または再与信時の取引 ID を指定	○

応答電文 : AmazonpayCancelResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
centerResponseDatetime	決済センター応答日時	文字列 14 桁	決済センターがキャンセル要求に応答した日時 正常終了であれば、Amazon 側でキャンセル要求を受け付けた日時となります。 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△
centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターが注文毎に発番する ID。 Amazon から購入者へ送信するメールに、注文番号として表示されます。	△
centerTransactionId	決済センターのトランザクション管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターがトランザクション毎に発番する ID。(※) ※決済申込、売上、キャンセルの応答時は、決済センターが同じ値を返します。また、再与信、再与信取引の売上、再与信取引のキャンセルの応答時は、元取引とは別に、決済センターが同じ値を返します。	△

5.1.5 返金

要求電文 : AmazonpayRefundRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	都度決済: 決済申込時の取引 ID を指定 随時決済: 決済申込時、または再与信時の取引 ID を指定	○
amount	返金金額	半角数字 8 桁以内	返金金額を指定。 ※未指定時は、返金可能金額全額	△

応答電文 : AmazonpayRefundResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留 ※Amazon 側で返金要求に対して処理を行うまで時間が掛かるため、返金の受付状況を処理結果として返戻します。 "success"の場合は、Amazon 側の処理後に結果通知を行うため、そちらで処理結果を判断してください。	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様に任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
centerResponseDatetime	決済センター応答日時	文字列 14 桁	決済センターが返金要求に応答した日時 Amazon 側で返金要求を受け付けた日時となります。 ※返金が成立した日時は、結果通知をご参照ください。 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△
centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターが注文毎に発番する ID。 Amazon から購入者へ送信するメールに、注文番号として表示されます。	△
centerTransactionId	決済センターのトランザクション管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターがトランザクション毎に発番する ID。 結果通知の内容とリダイレクト受信内容を紐づけるための情報として使用できます。	△
refundableAmount	返金可能金額	半角数字 8 桁以内	売上金額から返金要求中と返金済みの取引の金額を減算した値を返します。 ※応答時点で部分返金が行える残りの金額となりますが、Amazon 側の処理により、返金要求中の取引が不成立となった場合は、返戻時点の値よりも大きくなる場合があります。	△

5.1.6 住所情報取得

要求電文 : AmazonpayGetAddressRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	都度決済: 決済申込時の取引 ID を指定 随時決済: 決済申込時、または再与信時の取引 ID を指定	○
addInfoRespFlag	追加情報応答フラグ	右記参照	応答電文に追加情報を含めるかどうかのフラグ "0": 含めない "1": 含める ※未指定の場合、"0": 含めないを設定する	△

応答電文 : AmazonpayGetAddressResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
centerResponseDatetime	決済センター応答日時	文字列 14 桁	決済センターが住所情報取得要求に回答した日時 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△
shippingName	配送先: 氏名	文字列 50byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。	△
shippingPhone	配送先: 電話番号	文字列 20byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。	△
shippingAddress1	配送先: 住所1	文字列 180byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。 住所1～住所3でどのように住所が登録されているかは、購入者の入力次第です。	△
shippingAddress2	配送先: 住所2	文字列 60byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。	△
shippingAddress3	配送先: 住所3	文字列 60byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。	△
shippingPrefecture	配送先: 都道府県	文字列 50byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。 住所1～住所3に都道府県を含めて登録されているかは、購入者の入力次第です。	△
shippingPostalCode	配送先: 郵便番号	文字列 20byte 以内	購入者が Amazon に登録している値を返します。 半角、全角、ハイフンありなど、購入者の入力次第です。	△
buyerId	購入者 ID	半角英数記号	決済センターが発番した購入者 Amazon アカウントのユニーク ID を返します。文字数は可変となります。	△
buyerEmail	購入者メールアドレス	半角英数記号 64 byte 以内	購入者のメールアドレスを返します。	△
buyerName	購入者名	文字列 60byte 以内	購入者の名前を返します。 ※追加情報応答フラグが"1"の場合のみ連携されます。	※
buyerPhoneNumber	購入者電話番号	文字列 60byte 以内	購入者の電話番号を返します。 ※追加情報応答フラグが"1"の場合のみ連携されます。	※

応答電文 : AmazonpayGetAddressResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
paymentPreferences	購入者支払方法	文字列 60byte 以内	購入者が指定した支払方法を返します。 ※追加情報応答フラグが“1”の場合のみ連携されます。	※
billingAddress1	請求先:住所1	文字列 60byte 以内	請求先で Amazon に登録している値を返します。 住所1～住所3でどのように住所が登録されているかは、請求先の入力次第です。 ※追加情報応答フラグが“1”の場合のみ連携されます。	※
billingAddress2	請求先:住所2	文字列 60byte 以内	請求先で Amazon に登録している値を返します。 ※追加情報応答フラグが“1”の場合のみ連携されます。	※
billingAddress3	請求先:住所3	文字列 60byte 以内	請求先で Amazon に登録している値を返します。 ※追加情報応答フラグが“1”の場合のみ連携されます。	※
billingPrefecture	請求先:都道府県	文字列 60byte 以内	請求先で Amazon に登録している値を返します。 住所1～住所3に都道府県を含めて登録されているかは、請求先の入力次第です。 ※追加情報応答フラグが“1”の場合のみ連携されます。	※
billingPostalCode	請求先:郵便番号	文字列 60byte 以内	請求先で Amazon に登録している値を返します。 半角、全角、ハイフンありなど、購入者の入力次第です。 ※追加情報応答フラグが“1”の場合のみ連携されます。	※
payRedirectUrl	決済確定 URL	URL に使用可能な 半角文字 256 桁以内	Amazon Pay で決済処理を行うための URL を返します。 ※決済申込処理で加盟店の決済確認画面を利用するパターンの途中で実施した場合のみ連携されます。	※
checkoutSessionId	CheckoutSession 識別子	文字列 60byte 以内	配送先変更、支払方法変更等に利用する Amazon 発行の ID を返します。 本番取引で加盟店の決済確認画面を表示する際に使用します。 ※決済申込処理で加盟店の決済確認画面を利用するパターンの途中で実施した場合のみ連携されます。	※

5.1.7 再与信

要求電文 : AmazonpayReAuthorizeRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	店舗側で採番した取引 ID を指定 上記「orderId(取引 ID)」について参照	○
originalOrderId	元取引 ID	半角英数字 100 桁以内	随時決済の決済申込時の取引 ID	○
amount	決済金額	半角数字 6 桁以内	決済金額を指定 1～100000 の間で指定できます。	○
withCapture	売上フラグ	右記参照	“true”: 与信同時売上 “false”: 与信のみ ※未指定の場合は、“false”: 与信のみとなります。	△
noteToBuyer	注文説明	文字列 255byte 以内	購入者のメールに表示される注文の説明 ※未指定の場合、元取引で設定された値が使用されます。	△
authorizePushUrl	与信時プッシュ 先 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内 ※localhost を含む URL は指定不可	再与信要求が成立(成功または失敗)した時に、結果通知電文をプッシュする先の URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、元取引の与信時プッシュ先 URL を使用。元取引側も未指定の場合は MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。	△
capturePushUrl	売上時プッシュ 先 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内 ※localhost を含む URL は指定不可	売上要求の処理結果が確定(成功または失敗)した時に、結果通知電文をプッシュする先の URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、元取引の売上時プッシュ先 URL を使用。元取引側も未指定の場合は MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。	△
cancelPushUrl	キャンセル時プッシュ 先 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内 ※localhost を含む URL は指定不可	キャンセル要求、返金要求の処理結果が確定(成功または失敗)した時に、結果通知電文をプッシュする先の URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、元取引のキャンセル時プッシュ先 URL を使用。元取引側も未指定の場合は MAP (Merchant Administrator Portal) から登録申請した値を使用。	△

応答電文 : AmazonpayReAuthorizeResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	“success”: 正常終了 “failure”: 異常終了 “pending”: 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○

応答電文 : AmazonpayReAuthorizeResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
centerResponseDatetime	決済センター応答日時	文字列 14 桁	決済センターが再与信要求に応答した日時 Amazon 側で再与信要求を受け付けた日時となります。 ※再与信が成立した日時は、結果通知をご参照ください。 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△
centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターが注文毎に発番する ID。 Amazon から購入者へ送信するメールに、注文番号として表示されます。	△
centerTransactionId	決済センターのトランザクション管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターがトランザクション毎に発番する ID。 ※再与信、再与信取引の売上、再与信取引のキャンセルの応答時は、元取引とは別に、決済センターが同じ値を返します。	△

5.1.8 解約

要求電文 : AmazonpayTerminateRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	随時決済の決済申込時の取引 ID を指定	○

応答電文 : AmazonpayTerminateResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1 つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
centerResponseDatetime	決済センター応答日時	文字列 14 桁	決済センターが解約要求に応答した日時 Amazon 側で解約要求を受け付けた日時となります。 ※解約が成立した日時は、結果通知をご参照ください。 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△
centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターが注文毎に発番する ID。 Amazon から購入者へ送信するメールに、注文番号として表示されます。	△

5.1.9 承諾情報更新

要求電文 : AmazonpayUpdateConsentRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	随時決済の決済申込時の取引 ID を指定	○
amount	決済金額	半角数字 6 桁以内	変更後の決済金額を指定 1～100000 の間で指定できます。 ※未指定の場合、更新されません。	△
frequencyUnit	頻度 (単位)	右記参照	変更後の随時決済の頻度の単位 (例: 2 週間毎であれば、単位は Week、値は 2) "Year": 年 "Month": 月 "Week": 週 "Day": 日 ※頻度 (値) を設定した場合は設定が必須となります。	△
frequencyValue	頻度 (値)	右記参照	変更後の随時決済の頻度の値 (例: 2 週間毎であれば、単位は Week、値は 2) - 頻度 (単位) 毎に設定できる範囲が異なります。 "Year": 1 のみ "Month": 1～12 "Week": 1～52 "Day": 1～365 ※頻度 (単位) を設定した場合は設定が必須となります。	△
noteToBuyer	注文説明	文字列 255byte 以内	変更後の購入者のメールに表示される注文の説明 再与信要求時に未指定だった場合のデフォルト値が、随時決済の決済申込時に設定した値から指定した値に更新されます。	△

応答電文 : AmazonpayUpdateConsentResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文 (内部処理も含む) 毎に付与する ID 1 つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー (取引 ID) と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○

応答電文 : AmazonpayUpdateConsentResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
centerResponseDatetime	決済センター応答日時	文字列 14 桁	決済センターが承諾情報更新要求に応答した日時 Amazon 側で承諾情報更新要求を受け付けた日時となります。 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△
centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターが注文毎に発番する ID。 Amazon から購入者へ送信するメールに、注文番号として表示されます。	△

5.1.10 与信変更

要求電文 : AmazonpayUpdateAuthorizeRequestDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	都度決済の決済申込時の取引 ID を指定	○
amount	決済金額	半角数字 8 桁以内	変更後の決済金額を指定 指定できる金額の上限は、「70000 円か最初の与信時の金額の 900%のうち高い方-現在の与信金額」となります。 (最大で 10000000 円が上限となります) 例: 最初に 100 円で与信した場合 70000-100=69900 円 最初に 10000 円で与信した場合 90000-10000=80000 円 ※未指定の場合、現在の決済金額で与信の取り直しを行います。	△

応答電文 : AmazonpayUpdateAuthorizeResponseDto

フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留状態	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 byte 以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文(内部処理も含む)毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー(取引 ID)と紐付けるために採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
centerResponseDatetime	決済センター応答日時	文字列 14 桁	決済センターが与信変更要求に応答した日時 Amazon 側で与信変更要求を受け付けた日時となります。※ YYYYMMDDhhmmss の形式	△
centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターが注文毎に発番する ID。 Amazon から購入者へ送信するメールに、注文番号として表示されます。	△
centerTransactionId	決済センターのトランザクション管理 ID	文字列 64 byte 以内	決済センターがトランザクション毎に発番する ID。	△
payRedirectUrl	決済確定 URL	URL に使用可能な半角文字 256 桁以内	Amazon Pay で決済処理を行うための URL を返します。 ※決済申込処理で加盟店の決済確認画面を利用するパターンの途中で実施した場合のみ連携されます。	※

5-2 共通

5.2.1 検索

■「設定」欄の内容は以下の通りとなります。

要求電文 … 必須項目:○ 任意項目:△ 設定不可:× その他条件付:※(条件は説明欄に記入)

応答電文 … 必ず返戻:○ 該当取引存在時に返戻:△ 返戻なし:× その他条件付:※

要求電文 : SearchRequestDto				
検索フィールド名	検索項目名	書式・制限	説明	設定
newerFlag	最新トランザクションフラグ	右記参照	成功、失敗に関係なく、最新トランザクションのみを検索する場合に使用します。 "true": 1 取引内の最新トランザクションのみ検索 "false": 全てのトランザクションを検索 ※指定しない場合は"false"になります。	△
containDummyFlag	ダミー決済対象フラグ	右記参照	ダミー取引も検索する場合に使用します。 "true": ダミー取引も検索する "false": ダミー取引は検索しない ※指定しない場合は"false"になります。	△
common 共通				
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	検索したい取引 ID を指定します。 必ず全桁指定してください。	○

応答電文 : SearchResponseDto				
※ 以下は、共通の検索結果フィールドです。				
検索フィールド名	検索項目名	書式・制限	説明	設定
result	処理結果	—		○
serviceType	サービスタイプ	右記参照	"search"	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	処理の結果ステータスが格納されます。 "success": 正常終了 "failure": 異常終了	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコードとなります。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示します。	△
overMaxCountFlag	最大件数超えフラグ	右記参照	"true": 最大件数以上 "false": 最大件数未満 現在は最大件数を超えることがないため"false"が返戻されます。	△
searchCount	検索結果件数	0~1000	検索結果件数(オーダー件数)が格納されます。	△
orderInfos	オーダー情報リスト		複数のオーダー情報(orderInfo)が格納されます。	△

	orderInfo		オーダー情報	—	検索条件に該当した取引の情報が該当件数分繰り返されます。	△
	index		インデックス	0～999	検索された情報のインデックスが格納されます。	△
	serviceTypeCd		決済サービスタイプ	右記参照	決済の種類が格納されます。 "amazonpay": Amazon Pay	△
	orderId		取引 ID	文字列	取引の取引 ID が格納されます。	△
	orderStatus		取引決済状態	右記参照	決済の状態が格納されます。 "initial": 初期状態 "end": 終了 "end_presentation": 画面遷移正常終了 "pending": 保留 "validation_error": 検証エラー "expired": 期限切れ "error": エラー ※このフィールドは、取引 ID に関連する注文データの 状態を完全に表現するものではありません。サ ービスタイプによっては詳細な状態遷移を別のフ ィールドに保持している場合がありますので、店 舗側システムの用途に合わせて successDetailTxnType や、決済固有の状態フィー ルドをご参照ください。	△
	lastSuccessTxnType		最終成功トランザク ションタイプ	文字列	直近の成功したコマンド名が格納されます。	△
	successDetailTxnType		詳細トランザクショ ンタイプ	文字列	取引の詳細な状態が格納されます。 7-2 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ /詳細オーダー決済状態)を参照	△
	properOrderInfo		固有オーダー情報	—	各決済サービスの固有オーダー情報が格納されま す。後述の一覧参照。	△
	transactionInfos		決済トランザクショ ンリスト	—	複数の決済トランザクション情報(transactionInfo) が格納されます。	△
	transactionInfo		決済トランザクショ ン情報	—	検索条件に該当した取引の情報が該当件数分繰り 返されます。	△
	txnId		トランザクション管 理 ID	文字列	決済サーバーが採番する管理 ID となります。	△
	command		コマンド	文字列	実行されたコマンド名が格納されます。 "Authorize": 申込(与信または与信+売上) "Capture": 売上 "Cancel": 与信取消 "Refund": 返金 "ReAuthorize": 再与信 "Terminate": 解約 "UpdateConsent": 承諾情報更新 "UpdateAuthorize": 与信変更 "AuthorizationNotify": (Amazon からの)与信通知 "CaptureNotify": (Amazon からの)売上通知 "CancelNotify": (Amazon からの)キャンセル通知 "RefundNotify": (Amazon からの)返金通知 "TerminateNotify": (Amazon からの)解約通知 "DeregistrationNotify": (Amazon からの)抹消通知 ※MDK で要求したコマンドだけでなく、決済サーバ ーの内部処理コマンドも含まれます。	△

	mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	処理の結果ステータスが格納されます。 "success": 正常終了 "failure": 異常終了 "pending": 保留	△
	vResultCode	詳細結果コード	文字列 16 桁	処理の結果を詳細に表すコードとなります。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	△
	txnDatetime	取引日時	文字列 23 桁	取引日時が格納されます。 YYYY-MM-DD hh:mi:ss.mmm 形式	△
	amount	金額	半角数字 12 桁以内	決済した金額が格納されます。	△
	properTransactionInfo	固有トランザクション情報	—	各決済サービスの固有トランザクション情報が格納されます。後述の一覧参照。	△

★ 以下の情報は、上記「固有オーダー情報」「固有トランザクション情報」内の階層にセットされます。

※ 以下は、Amazon Pay 固有の検索結果フィールドです。

properOrderInfo		Amazon Pay 固有オーダー情報			
	authorizeAmount	申込金額	半角数字 8 桁 以内	決済申込時に指定した金額 ※与信変更が成立していた場合は最新の与信変更成立時に指定した金額	△
	captureAmount	売上金額	半角数字 8 桁 以内	売上時に指定した金額 ※売上要求時に指定しなかった場合は申込金額	△
	refundableAmount	返金可能金額	半角数字 8 桁 以内	現在の返金可能金額	△
	balance	残高	半角数字 8 桁 以内	現在の残高	△
	authorizeDatetime	決済申込日時	文字列 14 桁	決済申込日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
	centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64byte 以内	決済センターが発番した注文単位の ID	△
	accountingType	課金種別	右記参照	“0”: 都度決済 “1”: 随時決済	△
	consentStatus	承諾状態	右記参照	随時決済の利用承諾状態 “Init”: 初期状態 “Consent”: 承諾 “ConsentTerminate”: 解約 “ConsentDeregistration”: 抹消	△
	frequencyUnit	頻度(単位)	右記参照	決済申込時に指定した随時決済の頻度の単位 詳細は 5.1.1 申込 要求電文: AmazonpayAuthorizeRequestDto の 「frequencyUnit」を参照	△
	frequencyValue	頻度(値)	半角数字 3 桁 以内	決済申込時に指定した随時決済の頻度の値 詳細は 5.1.1 申込 要求電文: AmazonpayAuthorizeRequestDto の 「frequencyValue」を参照	△
	originalOrderId	元取引 ID	文字列	随時決済の決済申込時の取引 ID	△
	odAmount	随時決済金額	半角数字 8 桁 以内	再与信要求時に設定すべき金額	△
payConfirmScreenType	決済確認画面種別	右記参照	“0”: 決済サーバー決済確認画面利用 “1”: 加盟店決済確認画面利用	△	
properTransactionInfo		Amazon Pay 固有トランザクション情報			
	centerTransactionId	決済センターのトランザク ション管理 ID	文字列 64byte 以内	決済センタートランザクション単位に発番する ID	△
	centerResultCode	決済センター結果コード	文字列	決済センターが返却する結果コード	△

VeriTrans4G Amazon Pay ご利用ガイド

centerStateCode	決済センター状態	文字列	決済センターが返却する状態	△
centerReasonCode	決済センター理由コード	文字列	決済センターが返却する状態の理由コード	△
detailCommandType	詳細コマンドタイプ	文字列	※「detailCommandType」の詳細は 7-2 検索 (Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態)を参照	△
centerRequestDatetime	決済センターへの要求日時	文字列 14 桁	決済センターへの要求日時が格納されます。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
centerResponseDatetime	決済センターからの返戻日時	文字列 14 桁	決済センターからの返戻日時が格納されます。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
frequencyUnit	頻度(単位)	右記参照	決済申込時に指定した随時決済の頻度の単位 詳細は 5.1.1 申込 要求電文: AmazonpayAuthorizeRequestDto の 「frequencyUnit」を参照	△
frequencyValue	頻度(値)	半角数字 3 桁 以内	決済申込時に指定した随時決済の頻度の値 詳細は 5.1.1 申込 要求電文: AmazonpayAuthorizeRequestDto の 「frequencyValue」を参照	△

5-3 結果通知電文

5.3.1 結果通知電文の概要

実装方法の詳細につきましては、弊社より提供しているサンプルプログラムをご参照ください。

■ 機能概要

決済サーバーから店舗様システムへ決済の結果通知を行います。

通知は、HTTP の POST を利用します。

※ プロトコルは HTTP (Port: 80)、HTTPS (Port: 443) に対応しています。

処理の概要については「第 4 章 結果通知受信処理」をご参照ください。

■ HMAC について

POST にてデータを通知するとき、リクエストヘッダーに HMAC を設定します。

また、HMAC 値は、リクエストボディから算出します。

アルゴリズムは「HmacSHA256」が設定されます。

フィールド名	設定値
content-hmac	h=[アルゴリズム名];s={CCID};v={HMAC 値}

表 5.1 リクエストヘッダーに設定する HMAC フィールド

■ 結果通知受信処理結果について

決済サーバーからの通知に対して店舗様システムが HTTP ステータスコード 200 番台を返した場合、受信処理が正常に終了したものと判断します。200 番台以外のコードを返した場合は、受信失敗と判断し、一定期間、通知を繰り返します。

※ 通常は HTTP ステータスコード“200”を返戻してください。

※ 規定の回数失敗した場合は、通知処理が停止しますのでご注意ください。

※ 決済サーバー側で“200”もしくは 200 番台のコードを受信できなかった場合には、通知を繰り返すことがあります。

同じ通知が複数回届いた場合でも受信処理が正常に行われるように実装してください。

5.3.2 Amazon Pay の結果通知電文

Amazon Pay における結果通知電文の通知タイミングは、下記となります。

No.	通知機能	通知タイミング	注意事項
1	決済申込結果通知 (Authorize)	決済申込が成立(成功または失敗)したタイミングで送信します。 決済申込が中断した場合は、成功または失敗が確定したタイミングで通知を行います。	購入前にブラウザを閉じた場合など、Amazon への決済申込が行われなかった場合は、送信しません。
2	売上結果通知 (Capture)	売上要求の処理結果が確定(成功または失敗)したタイミングで送信します。	
3	キャンセル結果通知 (Cancel)	キャンセル要求の処理結果が確定(成功または失敗)したタイミングで送信します。	
4	返金結果通知 (Refund)	返金要求の処理結果が確定(成功または失敗)したタイミングで送信します。	複数回の返金要求を行った場合は、それぞれの確定時点で送信します。
5	再与信結果通知 (ReAuthorize)	再与信要求が成立(成功または失敗)したタイミングで送信します。	
6	解約結果通知 (Terminate)	解約要求の処理結果が確定(成功または失敗)したタイミングで送信します。	
7	抹消通知 (Deregistration)	決済サーバーが Amazon Pay から抹消通知を受信したタイミングで送信します。	「抹消」通知を受信した場合は、当該消費者の承諾終了となりますので、注意が必要です。
8	与信変更結果通知	与信変更要求の処理結果が確定(成功ま	

No.	通知機能	通知タイミング	注意事項
	(UpdateAuthorize)	たは失敗)したタイミングで送信します。	

表 5.2 Amazon Pay の結果通知機能

以下に、Amazon Pay の結果通知項目を示します。

項番	フィールド名	項目名	書式・制限	説明
1	numberOfNotify	通知件数	半角数字 4 桁以内	1 度に通知可能な件数は 100 件、101 件以上は次回通知
2	pushTime	送信時刻	半角数字 14 桁	決済サーバーから通知した時刻 yyyyMMddHHmmss 形式
3	pushId	識別 ID	半角数字 8 桁	プッシュ処理を行うたびに採番される ID。 注) 他の決済サービスで使用された ID と重複する場合があります。
通知件数分下記の項番(4~16)を繰り返す。なお、フィールド名の後ろに 4 ケタの連番(0000~0099)を付与する。				
4	orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	取引 ID
5	txnType	トランザクションタイプ	※右記の説明を参照	"Authorize": 決済申込結果通知 "Capture": 売上結果通知 "Cancel": キャンセル結果通知 "Refund": 返金結果通知 "ReAuthorize": 再与信結果通知 "Terminate": 解約結果通知 "Deregistration": 抹消通知 "UpdateAuthorize": 与信変更結果通知
6	txnTime	処理日時	半角数字 14 桁	yyyyMMddHHmmss 形式
7	vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 4 桁	処理結果コードの詳細は、 『結果コード一覧』を参照して下さい。
8	mstatus	処理ステータス	半角英数字 8 桁以内	"success": 正常終了 "failure": 異常終了
9	centerOrderId	決済センターの管理 ID	文字列 64byte 以内	決済センターが発番した注文単位の ID
10	centerTransactionId	決済センターのトランザクション管理 ID	文字列 64byte 以内	決済センターが発番したトランザクション単位の ID
11	refundableAmount	返金可能金額	半角数字 8 桁以内	売上金額から返金要求中と返金済みの取引の金額を減算した値を返します。 ※与信同時売上時の決済申込結果通知/売上結果通知/返金結果通知の場合に返します。
12	balance	残高	半角数字 8 桁以内	売上金額から返金済みの金額を減算した値を返します。 ※与信同時売上時の決済申込結果通知/売上結果通知/返金結果通知の場合に返します。
13	dummy	ダミー決済フラグ	半角数字 1 桁	ダミー取引を示す場合は"1"を設定する。
14	accountingType	課金種別	※右記の説明を参照	"0": 都度決済 "1": 随時決済
以下は、随時決済利用時の場合に連携される項目です。				
15	originalOrderId	元取引 ID	半角英数字 100 桁以内	随時決済の決済申込時の取引 ID
16	consentAuthType	承諾時決済タイプ	※右記の説明を参照	"0": 承諾のみ "1": 与信+承諾

表 5.3 Amazon Pay の結果通知項目

(注意事項)

- ✧ pushId(識別 ID)は、他の決済サービスで使用された Id と重複する場合がありますので、ユニークキーとして処理しないようにしてください。
- ✧ 項目の並び順は、必ずしも表の順序とは一致しません。

VeriTrans4G Amazon Pay ご利用ガイド

- ◇ 結果通知は将来的にフィールドが追加される可能性があります。上記に定義されたフィールド名以外のフィールドが連携された場合でもエラーとならないようご注意ください。

第6章 ご利用上の注意事項

6-1 ご利用前の設定

Amazon Pay サービスのご利用にあたり、**以下の設定を必ず行ってください。**

6.1.1 証明書の設定

決済サーバーと Amazon の通信のため、証明書を設定していただきます。

設定されていない場合、結果コード: 6H03 が返戻されます。

以下のページをご参照いただき、Public Key ID と Private Key ファイルを作成・取得します。

Amazon Pay FAQ(v2) QA-59 (<https://www.amazonpay-faq.jp/faq/QA-59>)

※VeriTrans4G では SANDBOX 環境をご利用いただけません。本番環境用の証明書を作成してください。

なお、手順に記載されている「ソリューションプロバイダもしくは、自社開発を選択」のドロップダウンでは「VeriTrans4G」を選択してください。

取得後、MAP (Merchant Administrator Portal) にログインし、「ツール」の「Amazon Pay 証明書管理」から証明書として Public Key ID と Private Key ファイルを登録します。

注) 出品者 ID が同じ場合は、Amazon Pay の証明書が共有されます。複数のマーチャント ID で同じ出品者 ID をご利用の場合、1 つのマーチャント ID で証明書を登録すると、他のマーチャント ID にも証明書が同時に適用されます。

6.1.2 インスタント支払通知の設定

決済サーバーが Amazon から決済処理の結果通知を受信するため、インスタント支払通知の設定をしていただきます。

設定されていない場合、弊社と Amazon との間での決済不整合の発生につながります。

また、5.3.2 Amazon Pay の結果通知電文が通知されなくなる恐れがあります。

以下のページをご参照いただき、Amazon Pay(本番環境)のインスタント支払通知の設定を行います。

Amazon Pay FAQ(v2) QA-116 (<https://www.amazonpay-faq.jp/faq/QA-116>)

通知のエンドポイントは以下の通りです。

エンドポイント: <https://api3.veritrans.co.jp/tercerog/webinterface/GWStreamRcv/amazonpay/Notify>

6-2 売上要求、返金要求、中断について

Amazon Pay サービスでは、Amazon とクレジットカード会社の間で返金処理を非同期で行うため、加盟店からの要求に対して、ある程度の時間が経過してから、処理結果が決定することになります。(直ちに処理されることもあります。)

決済サーバー側の処理としては、加盟店からの返金要求に対して、Amazon で要求を受け付けたことが確認できた時点で、受付成功(結果コードが 6G01)の応答を返戻します。直ちに処理が完了した場合は、受付成功ではなく、処理成功(結果コードが 6001)の応答を返戻します。

売上要求については、与信取得から約一週間経過した後に売上を行った場合には、Amazon で受付成功の応答を返戻することがあり

ます。

また、各コマンドで決済サーバーが Amazon からの応答を受信できなかった場合や応答内容から取引結果が判別できずに取引状況が不明となった場合は、取引は中断状態となります。

処理結果が決定した場合には、決済サーバーから加盟店に結果通知を行います。

※パラメータ誤りなど、コマンドが Amazon への要求前に失敗相当となった場合は、決済サーバーから加盟店への結果通知は行いません。

受付成功の後、失敗となる可能性があるため、受付成功の時点では要求は成立していないものとして扱ってください。

また、結果通知による処理結果は、通信状況によってはコマンド返戻より先に加盟店に届くことがある他、複数回同じ内容の結果通知が届くことがあります。このような場合にも加盟店側の処理として問題とならないようにご対応ください。

6-3 要求可能期間

Amazon Pay サービスにおける、要求可能期限は下記となります。

要求種類	要求可能期間
売上	都度決済の場合、与信取得または最新の与信変更から 30 日間 随時決済の場合、与信取得から 30 日間 ※与信変更時は最長でも与信取得から 180 日以内(与信時に extendExpiration=true を指定した取引は与信取得から 13 ヶ月以内) 例: 最新の与信変更日:与信取得から 170 日目⇒売上期限:与信取得から 180 日目 都度決済の売上で結果コード 6G02 が発生した際は要求可能期間外となっている可能性がありますので、与信変更の実施をご検討ください。
キャンセル	都度決済の場合、与信取得または最新の与信変更から 30 日間 随時決済の場合、与信取得から 30 日間
返金	売上(与信同時売上)から 400 日間 ※Amazon としては期限はありませんが、決済サーバー側で取引情報を保持している期間内(400 日間)に限ります
住所情報取得	都度決済の場合、与信取得から 180 日間 随時決済の場合、与信取得から解約後 30 日間まで
再与信	最新の再与信から 13 か月 ※再与信を行っていない場合は与信(承諾)取得から 13 か月
解約	最新の再与信から 13 か月 ※再与信を行っていない場合は与信(承諾)取得から 13 か月
承諾情報更新	最新の再与信から 13 か月 ※再与信を行っていない場合は与信(承諾)取得から 13 か月
与信変更	与信取得から 180 日間(与信時に extendExpiration=true を指定した取引は与信取得から 13 ヶ月)

表 6.1 要求可能期間

6-4 随時決済の頻度について

随時決済の決済申込の際に再与信を行う頻度(単位)と頻度(値)を設定していただきますが、設定した頻度と異なるタイミングで再与信を実施しても再与信は成立します。ただし、決済申込時の設定と実際の再与信の頻度が頻繁に異なる場合は、Amazon 側の判断でアカウントを閉鎖される可能性がございます。可能な限り、設定した頻度で再与信を実施するようにご注意ください。

設定した頻度を変更したい場合、承諾情報更新を実施してください。

頻度の設定方法に関しては 5.1.1 申込 要求電文:AmazonpayAuthorizeRequestDto の「frequencyUnit」、「frequencyValue」をご参照ください。

6-5 Amazon Pay 管理画面(セラーセントラル)について

Amazon Pay 管理画面(セラーセントラル)では取引状態を変更しないでください。弊社と Amazon との間での決済不整合の発生につながります。

6-6 Amazon マーケットプレイス保証について

Amazon Pay サービスに登録された配送先について、加盟店と購入者が直接連絡して配送先を変更した場合は

Amazon マーケットプレイス保証が適用されないリスクがあります。

Amazon マーケットプレイス保証の詳細につきましては、

Amazon Pay のサポートページ (<https://pay.amazon.co.jp/help/201212410>) よりご確認ください。

6-7 決済申込での加盟店の決済確認画面の利用について

決済申込で加盟店の決済確認画面を利用する場合、決済申込完了までに以下の処理を実装する必要があります。

1. MDK の決済申込(Authorize)コマンド実施

要求電文で決済確認画面種別(payConfirmScreenType)および決済確認画面URL(payConfirmScreenUrl)を設定する必要があります。

2. 決済確認画面表示処理

決済サーバーから加盟店が指定した URL にリダイレクトを行います。

改ざんチェックのパラメータとして、リクエストパラメータで取引 ID(orderId)、ハッシュ値(orderHash)を付与します。

※決済確認画面表示後に配送先を変更したパターンなどで、本処理は複数回実施されることがございます。2 回目以降の場合は Amazon Pay により上記以外のパラメータが付与されることがございますが、無視して問題ありません。

決済確認画面に表示する内容、および配送先や支払い方法を変更するための実装は、Amazon Pay のインテグレーションガイドを参照してください。

なお、変更時に必要となる amazonCheckoutSessionId は、

住所情報取得(GetAddress)コマンド応答の checkoutSessionId の値をご使用ください。

<https://developer.amazon.com/ja/docs/amazon-pay-checkout/display-shipping-payment-info.html>

配送先情報および支払い方法の情報取得に関しては、MDK の住所情報取得(GetAddress)コマンドを実施してください。取得した配送先住所を確認し、送料変更による金額変更が発生する場合は、決済確認画面には変更後の表示を実施し、「3. 金額変更処理」で与信変更のコマンドを実施してください。

また、応答電文で取得した決済確定 URL(payRedirectUrl)は後の処理で必要になるため、取引と紐づけて保存する必要があります。

[ハッシュ値による改ざんチェックについて]

ハッシュ値の計算は以下の式で実施し、リクエストパラメータの値と一致するかご確認ください。merchantCcId およびパスワードは加盟店サーバーに保存されている値をご利用ください。

「merchantCcId + 取引 ID + パスワードを SHA-1 でハッシュ化」

ダミー取引で「お届け先修正」と「支払い方法変更」の遷移を確認する場合はダミー取引専用の処理が必要になりますので、「8-1 決済申込時の画面遷移をシミュレートする」の「加盟店の決済確認画面を利用する場合」のセクションをご確認ください。

3. 金額変更処理

「2.決済確認画面表示処理」で金額変更が必要な場合は、与信変更(UpdateAuthorize)コマンドを実施して金額変更の電文を決済サーバーに送信してください。金額変更がない場合は与信変更コマンドの実施は不要です。

与信変更コマンド実施後、「2.決済確認画面表示処理」で保存した決済確定URL、もしくは与信変更コマンドで取得した決済確定URLのうち新しいURLにリダイレクトするように処理してください。

4. これ以降の処理は決済サーバーの決済確認画面を利用した場合と同様になります。

6-8 返金要求の失敗について

返金要求が失敗(結果コードが 6G02)だった場合、購入者の Amazon アカウントが削除されていないか確認をしてください。

確認方法として、Amazon Pay 管理画面(セラーセントラル)から対象の取引を確認した際に、購入者氏名の欄が「削除された購入者アカウント」と表示されているかどうかで確認することができます。

6-9 決済要求から 24 時間経過しても処理が確定しない場合について

決済要求(結果コードが 6G01)が発生した取引に関して、24 時間経過しても結果が確定しない場合、クレジットカード会社で処理が長引いている可能性がございます。処理状況についての詳細は Amazon Pay 管理画面(セラーセントラル)から Amazon 側へ直接お問い合わせください。

6-10 通信プロトコルについて

Amazon Pay は、安全な通信を確保するために TLS1.0 を使用して行われたリクエストをブロックします。

Amazon Pay へのリクエストには TLS1.1 以降を使用する必要があります。

第7章 その他 補足事項

7-1 Amazon Pay サービスの参考情報

選択可能な支払い方法や対象ブラウザその他、Amazon Pay サービスの仕様につきましては、

開発者向けページ (<https://developer.amazon.com/ja/docs/amazon-pay/intro.html>)、

対象ブラウザ (<https://pay.amazon.co.jp/help/202030010>)をご参照ください。

Amazon Pay サービスのロゴ・マーク・バナーのご利用につきましては Amazon Pay 販売事業者様向けマーケティングガイド

(https://m.media-amazon.com/images/G/09/AmazonPay/MarketingGuide/AmazonPay_MarketingGuideForMerchants_v2_20190819_CB1198675309.pdf)をご参照ください。

7-2 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態)

決済サーバーでは、システム内部データとして詳細コマンド(処理要求の種類)と詳細な決済状態(その取引がどのような状態にあるか)を管理しています。

通常の運用では、店舗様システムではこれらの内部情報を利用する必要はありませんが、店舗様システムにおいて取引の状態検索が必要なケースや、障害等のお問い合わせ時の参照情報として、これらの内部データを Search コマンドで公開しています。

下表に Search コマンドにて利用可能な内部データの一覧を示します。

詳細コマンドタイプ		詳細オーダー決済状態	
論理名	値	論理名	値
認可	PreAuth	初期状態	Init
与信	Auth	与信	Auth
売上要求	PostAuthReq	与信	Auth
売上	PostAuth	売上	PostAuth
返金要求	RefundPostAuthReq	売上	PostAuth
返金	RefundPostAuth	売上	PostAuth
取消要求	VoidPostAuthReq	売上	PostAuth
取消	VoidPostAuth	取消	VoidPostAuth
売上 (与信売上)	AuthCapture	与信売上	AuthCapture
返金要求 (与信売上)	RefundAuthCaptureReq	与信売上	AuthCapture
返金 (与信売上)	RefundAuthCapture	与信売上	AuthCapture
取消要求 (与信売上)	VoidAuthCaptureReq	与信売上	AuthCapture
取消 (与信売上)	VoidAuthCapture	取消 (与信売上)	VoidAuthCapture
与信取消	VoidAuth	与信取消	VoidAuth
承諾	Consent	承諾	Consent

表 7.1 詳細コマンドタイプと詳細オーダー決済状態

注) 一覧に記載していないコマンドタイプと状態も存在します。

7-3 決済サーバーの決済確認画面イメージ

決済サーバーが提供する決済確認画面を用いる場合、消費者には下記のような画面が表示されます。

決済確認画面では、消費者の選択した配送先、支払い方法、取引情報(取引 ID、取引金額、お支払いサイクル)を表示します。

消費者は、「お届け先修正」ボタンと「支払い方法修正」ボタンにより、購入手続き前に配送先や支払い方法を変更できます。

配送先、支払い方法の変更処理の詳細を確認する場合は、Amazon Pay のインテグレーションガイドをご参照ください。

<https://developer.amazon.com/ja/docs/amazon-pay-checkout/display-shipping-payment-info.html>

※配送先と「お届け先修正」ボタンは、配送先表示抑止フラグで非表示と指定した場合は表示しません。

※お支払いサイクルは都度決済の場合は表示しません。

※決済確認画面のイメージは 2022 年 11 月時点の内容となります。今後、予告なしに変更させていただく場合がございます。

ロゴ表示位置

名前 (配送先)	七姓 名
郵便番号	153-0064
住所1	目黒区
住所2	下目黒 1 - 8 - 1
住所3	
電話番号	03-1111-1111

お届け先修正

名前 (購入者)	Pay Tester
メールアドレス	jp-amazonpay-tester@amazon.co.jp
お支払い方法	 Amazonアカウントで指定したお支払い方法
取引ID	dummy1605
取引金額	100
お支払いサイクル	1年ごと

支払い方法修正

購入する

キャンセル


Copyright © VeriTrans Inc. All rights reserved

図 7.1 決済サーバーの決済確認画面

第8章 導入・テストに関する補足

決済サーバーに接続し、テストを実施するための各種手続き・手順の詳細につきましては、『導入テストガイド』を参照してください。

8-1 決済申込時の画面遷移をシミュレートする

弊社では、Amazon Pay のテストのための疑似環境を提供しております。

Authorize コマンドの結果として返戻されたレスポンスコンテンツ (AmazonpayAuthorizeResponseDto.responseContents) によって消費者のブラウザを遷移させると、以下の疑似環境が表示されます。

Amazon Pay の認証画面のイメージが表示されますのでそのまま「ログイン」ボタンをクリックして次の画面に遷移します。

ログイン画面

この画面は、Amazon Pay決済のダミーのログイン画面です。
「ログイン」ボタンを押下することで、お支払方法・お届け先選択画面に遷移します。
※本番のデザインとは一部異なります。

ログイン

以下の画像は、消費者がログインを行う画面のサンプル画像です。



amazon

Amazonアカウントでログイン

Amazonアカウントを使用してログイン

メールアドレス

パスワード [パスワードを忘れた場合](#)

ログイン

ログインすることで、当社の [利用規約](#) 及び [ポリシー](#)、[プライバシー規約](#)、および [パーソナライズド広告規約](#) に同意するものとみなされます。

☐ ログインしたままにする [詳細](#)

Amazonの新しいお客様ですか？

Amazonアカウントを作成

安全にショッピング

Amazon がパスワードまたはお支払情報を販売業者に共有することはありません。購入された商品はご利用内容に基づきAmazonマーケットプレイス保証の対象となります。

簡単にお支払い

Amazonアカウントにご登録の支払方法や配送先住所に関する情報をご利用いただけます。

簡単にログイン

別のパスワードなしで、Amazonアカウントを使ってこのサイトにログインします。

[詳細はこちら](#)

[利用規約](#) [プライバシー規約](#)

© 1996-2020, Amazon.com, Inc. or its affiliates



Copyright © VeriTrans Inc. All rights reserved

図 8.1 疑似環境（ダミーAmazon Payーログイン画面）

VeriTrans4G Amazon Pay ご利用ガイド

Amazon Pay のお支払方法・お届け先選択画面が表示されます。

「続行」ボタンをクリックすることで以降の遷移を確認でき、「ログアウト」ボタンを押すことでログイン画面に戻ります。

お支払方法・お届け先選択画面

この画面は、Amazon Pay決済のダミーのお支払方法・お届け先選択画面です。
「続行」ボタンを押下することで決済確認画面に遷移します。
また、「ログアウト」ボタンを押下することでログイン画面に遷移します。

以下の画像は、支払方法やお届け先を選択する画面のサンプル画像です。

amazon pay

こんにちは、さん

VeriTrans 4G

お届け先住所

変更

支払い方法

Visa 末尾

変更

続行

続行することで、[利用規約及びポリシー](#)、および[プライバシー規約](#)に同意するものとみなされます。また、A1U66OK729GL7Rに氏名、Eメールアドレス、お届け先住所、及び電話番号を提供することを許可したものとみなされます。A1U66OK729GL7Rはそのサイトの [プライバシーポリシー](#) に従ってお客様が提供する情報を利用します。

[キャンセルして に戻る](#)

© 1996-2020, Amazon.com, Inc. or its affiliates

[利用規約](#) [プライバシー規約](#)

veritrans

Copyright © VeriTrans Inc. All rights reserved

図 8.2 疑似環境（ダミーAmazon Payーお支払方法・お届け先選択画面）

加盟店の決済確認画面を利用する場合、

「お届け先修正」などの Amazon Pay の画面に戻る遷移をシミュレートする場合は以下のように遷移するボタンを実装することで実現可能です。

要素: form

URL: <https://api3.veritrans.co.jp/dummy-amazonpay/SelectAddressAndPaymentMethod>

パラメータ:

名前: checkoutResultReturnUrl

値: [決済確認画面 URL]?order_id=[ORDER_ID]&order_hash=[ORDER_HASH]

決済確認画面 URL は、申込要求電文で決済確認画面 URL に設定した値

ORDER_ID と ORDER_HASH は、決済確認画面 URL に遷移した際のクエリパラメータの値

例) https://example.com/payConfirmScreenUrl?order_id=testOrderId&order_hash=aaaaaaaaabbbbbbbccccccccddddddeeeeeeee

8-2 コマンドのエラーをシミュレートする

Authorize、Capture、Refund、ReAuthorize、UpdateConsent、UpdateAuthorize コマンドの要求金額(“amount”)の一の位の値を調整することで、意図的にエラーを発生させることができます。

Cancel、GetAddress コマンドは、対象取引の決済金額が要求金額に相当します。

(Capture コマンドで金額を指定しない場合は、対象取引の決済金額が要求金額に相当します。)

(Refund コマンドで金額を指定しない場合は、対象取引の返金可能金額が要求金額に相当します。)

Terminate コマンドは、対象取引の決済金額の千の位の値を調整することで、意図的にエラーを発生させることができます。

決済金額が 1000 未満の場合、千の位は“0”として処理されます。

要求金額の一の位と、返戻される vResultCode の対応表を以下に記載します。

要求金額の 一の位	Authorize(決済申込)後、 確認画面移行時点	Authorize(決済申込)後の消費者 による操作完了時点 ※1	Authorize の結果通知 ※2	ReAuthorize (再与信)	Capture (売上)	Capture(売上) の結果通知
0	6001(成功)	6001(成功)	-	6001(成功)	6001(成功)	-
1	6GD1(失敗)	-		6GD1(失敗)	6G01(受付)	6001(成功)
2	6001(成功)	6GD1(失敗)		6GD1(失敗)	6G01(受付)	6GD1(失敗)
3		6ED1(中断)	6GD1(失敗)	6ED1(中断)	6GD1(失敗)	-
4		6001(成功)	-	6001(成功)	6ED1(中断)	6GD1(失敗)
5		6ED2(中断)	6001(成功)	6ED2(中断)	6001(成功)	-
6			6GD1(失敗)		6ED2(中断)	6001(成功)
7		6001(成功)	-	6001(成功)	6ED2(中断)	6GD1(失敗)
8					6001(成功)	-
9						

※1: Authorize コマンドの返戻ではなく、消費者が操作完了した後に返戻する結果コードを記載しております。

決済申込で加盟店の決済確認画面を利用するパターンにおいて、決済申込処理の途中でコマンドを実施した際の結果コードは下記の通りになります。

金額の一の位が 7 の取引で GetAddress を実施 … 6GD1(失敗)

金額の一の位が 9 の取引で UpdateAuthorize を実施 … 6GD1(失敗)

上記以外 … 6001(成功)

※2: 「決済申込の中断」「売上の受付」に対する結果通知を行う前に、後続処理の要求を行った場合は 6C01(失敗)となります。

要求金額の 一の位	Cancel (キャンセル)	Cancel (キャンセル)の結果通知	Refund (返金)	Refund (返金)の結果通知	GetAddress (住所情報取得)※5	UpdateConsent (承諾情報更新)	UpdateAuthorize (与信変更)※6	
0	6001(成功)	-	6G01(受付)	6001(成功)	6001(成功)	6001(成功)	6001(成功)	
1	-			6GD1(失敗)	-	-	6GD1(失敗)	6GD1(失敗)
2							6ED3(失敗)	
3			6GD1(失敗)	6ED1(中断)			6GD1(失敗)	
4	6GD1(失敗)		6G01(受付)	6001(成功)	6GD1(失敗)	6001(成功)	6001(成功)	
5	6001(成功)		6G01(受付)	6001(成功)	-	6ED3(失敗)	6ED2(中断)	
6	-							
7	6ED2(中断)	6001(成功)	6ED2(中断)	-	6001(成功)	6001(成功)	6001(成功)	
8		6GD1(失敗)	6G01(受付)	6001(成功)				
9	6001(成功)	-	6001(成功)	-				

※3: 決済申込、ReAuthorize コマンド、Capture コマンド、Cancel コマンド、Refund コマンド、UpdateAuthorize コマンドで成功もしくは失敗となったダミー取引について、直ちに結果通知を行います。

※4: 「決済申込の中断」「売上の受付」「売上の中断」「返金の受付」「キャンセルの中断」となったダミー取引について、下記の通り結果通知を行います。

金額の一の位が 6 の返金の取引 … コマンド返戻の約 30 秒後に結果通知を行います。

金額の一の位が 6、9 以外の返金、9 以外の売上、7 のキャンセルの取引 … コマンド返戻の約 10 秒後に結果通知を行います。

金額の一の位が 3、5、6 の決済申込、8 のキャンセルの取引 … コマンド返戻から数分後に結果通知を行います。(返戻までの間隔は不定となります。)

※5,6: 決済申込処理の途中で実施するコマンドの結果コードにおいては、※1 を参照してください。

返戻されるエラーコード(vResultCode)につきましては、今後、予告なしに変更させていただく場合がございます。

要求金額の千の位と返戻される vResultCode の対応表を以下に記載します。

要求金額の 千の位	Terminate (解約)	Terminate(解約) の結果通知 ※2	Deregistration(抹消) の通知 ※3
0	6001(成功)	-	-
1			
2			
3			
4			
5			
6	6GD1(失敗)	6001(成功)	-
7	6ED2(中断)		
8	6GD1(失敗)		
9	6001(成功)	-	6G14(失敗)

※1: Terminate コマンドで成功もしくは失敗となったダミー取引について、直ちに結果通知を行います。

※2: 「解約の中断」となったダミー取引について、コマンド返戻の約 10 秒後に結果通知を行います。

※3: 随時決済の「決済申込の成功」となったダミー取引について、金額の千の位が 9 の場合、コマンド返戻から約 5 分後に抹消通知を行います。

返戻されるエラーコード(vResultCode)につきましては、今後、予告なしに変更させていただく場合がございます。